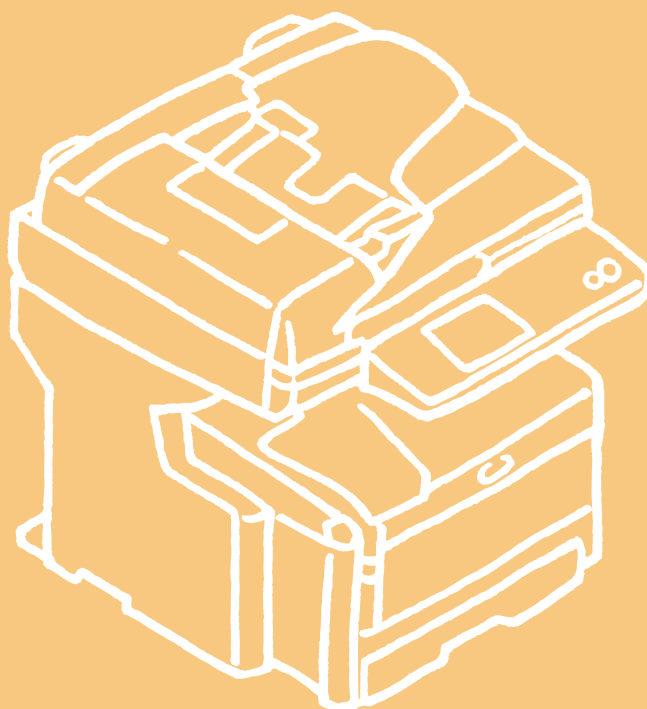
OKI

ユーザーズマニュアル

わからないときやお手入れのときに

困ったときには/日々のメンテナンス編

MC852dn
MC862dn
MC862dn-T

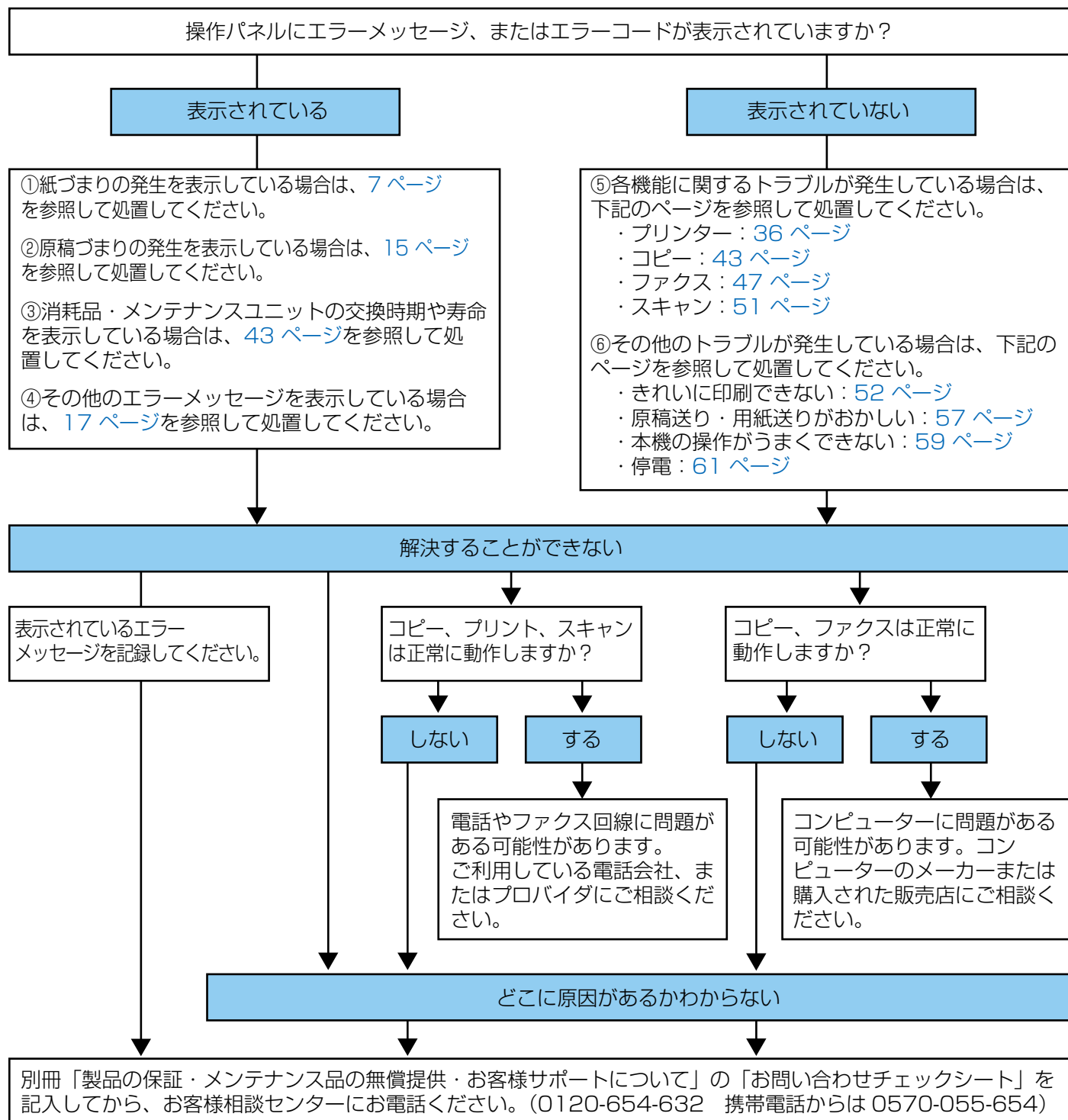
COREFIDO コアフィード

○本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

目次

1 困ったときには

困ったときの解決手順

ここでは、本機を使用中に発生した問題を解決するための手順を説明します。
この手順で解決できない場合は、お客球相談センターへご連絡ください。

紙づまりになったとき

用紙がつまったとき

音声案内 エラー案内解除

印刷中に用紙がつまると、アラーム音が鳴り、画面に「紙づまりです点滅箇所のカバーを開けて確認してください」が表示されます。以下の表の参照ページの手順に従って、つまった用紙を取り除いてください。

画面表示	エラーの内容	参照ページ
紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	トレイ 1、MP トレイに用紙がつまった	7 ページ
紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	本体内部に用紙がつまった	9 ページ
紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	両面印刷ユニットに用紙がつまった	12 ページ
紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	トレイ 2、トレイ 3（オプション）に用紙がつまった	13 ページ

また、＜音声案内＞キーが点滅している場合は、＜音声案内＞キーを押すと、音声ガイダンスにて紙づまりの解除方法を説明します。

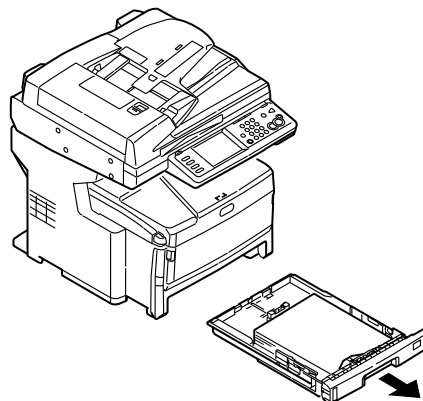
メモ

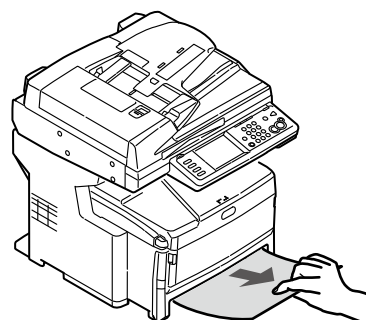
- 音声ガイダンスを中止するには、もう一度＜音声案内＞キーを押します。

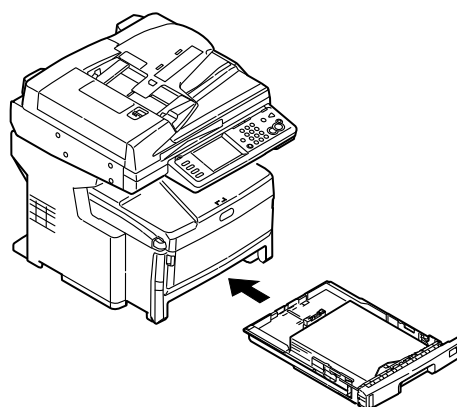
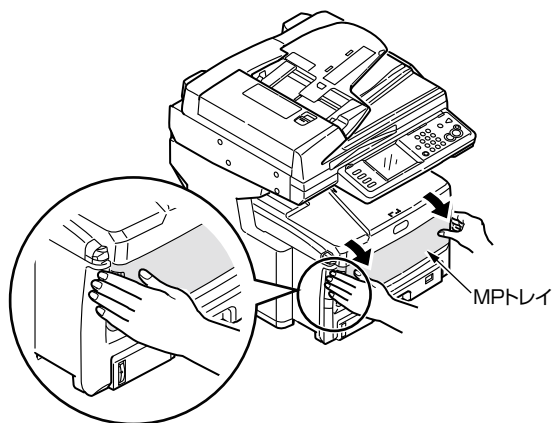
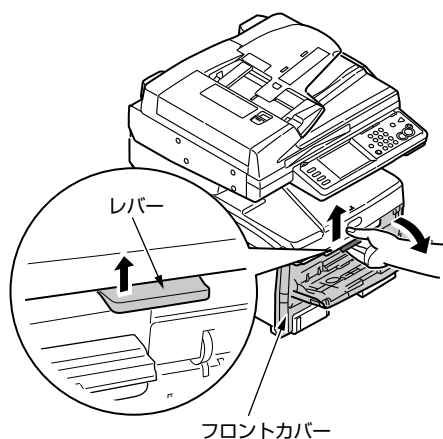
参照

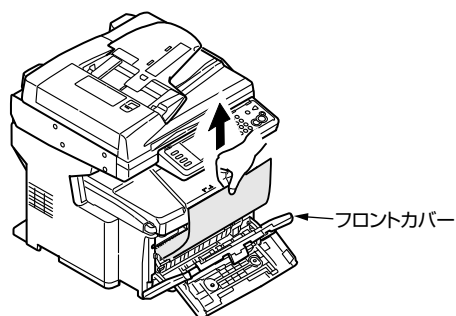
- 「操作案内モード」を「自動」に設定すると、自動的に音声ガイダンスを始めることもできます。セットアップ編「機能や操作方法を音声で案内する（音声案内）」をご覧ください。

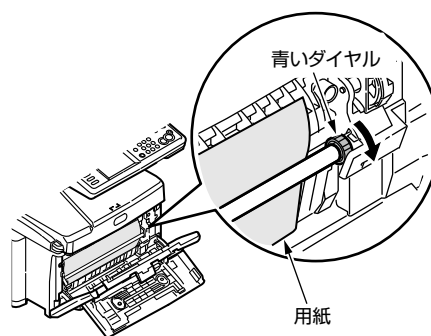
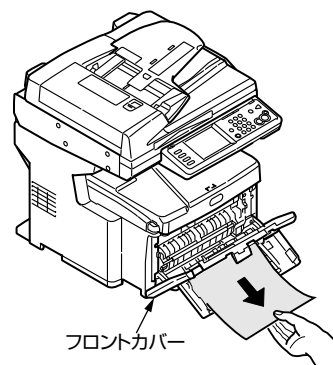
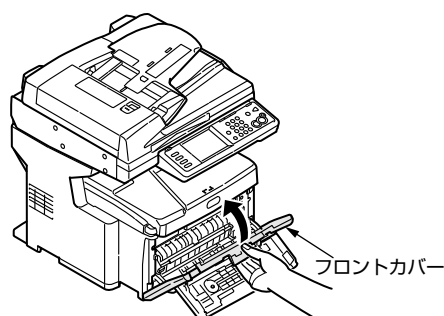
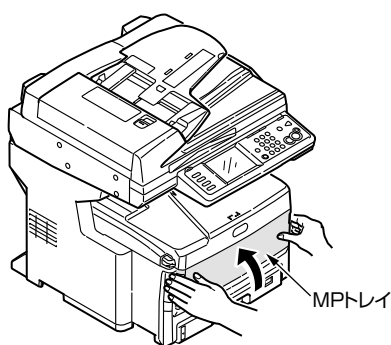
トレイ 1、MP トレイに用紙がつまったとき

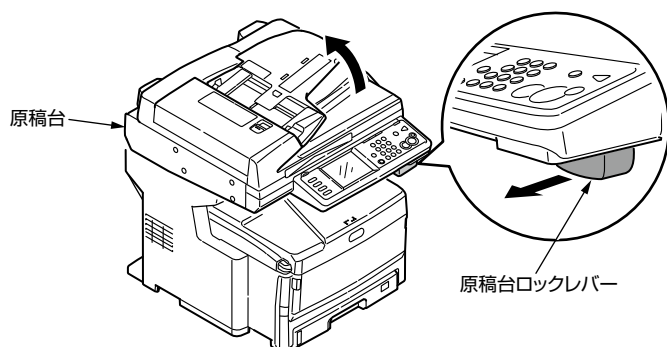
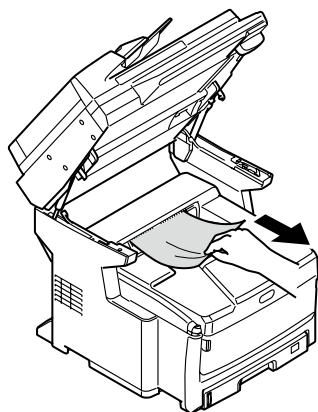
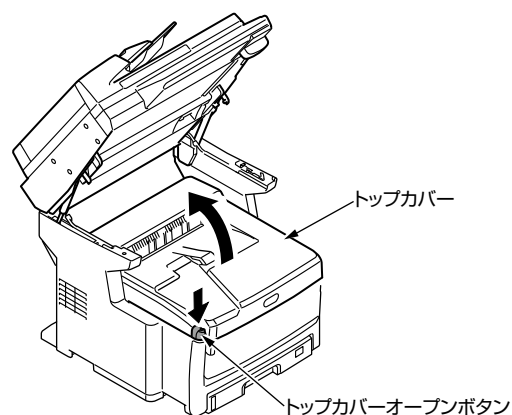
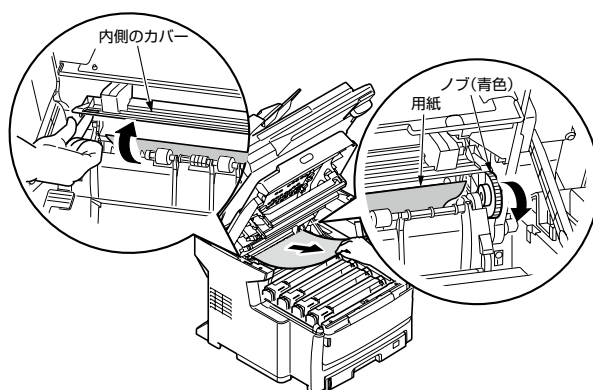
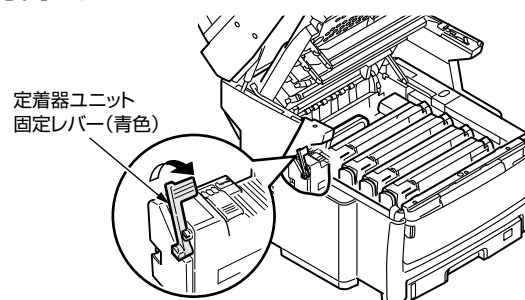
1 トレイ 1 のカセットを抜きます。

2 つまった用紙を取り除きます。

つまった用紙が見えないときは、何もせず、手順 3 へ進みます。

3 用紙カセットを戻します。

手順 2 で用紙を取り除いた場合は、これで完了です。

4 MPトレイが閉じているときは、MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

5 中央のレバーを上方に押してフロントカバーを開きます。

6 つまった用紙をゆっくり引き出し取り除きます。

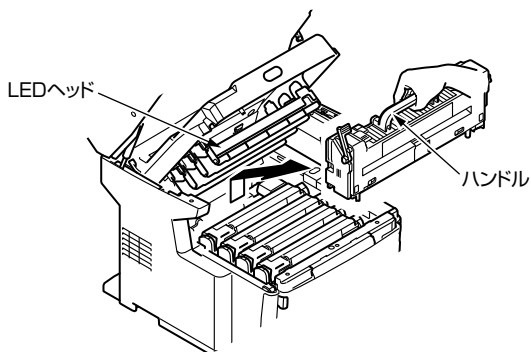
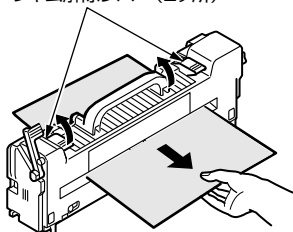
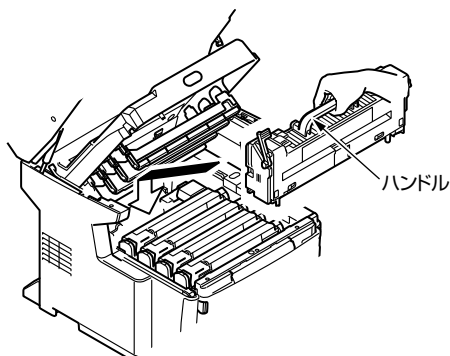
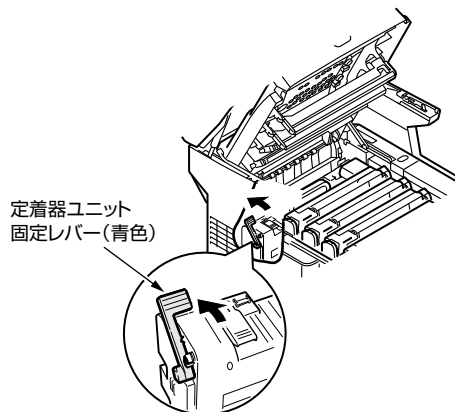
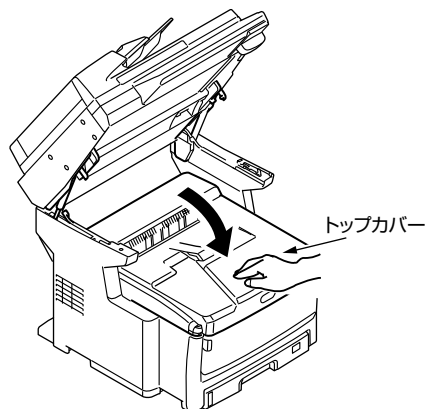
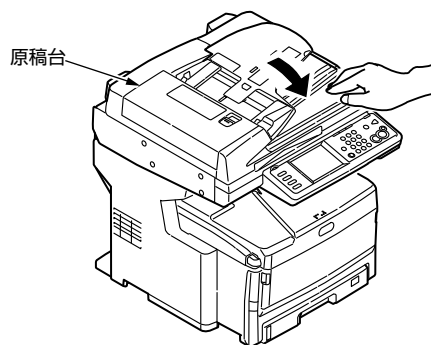
● トレイ 1 またはトレイ 2, 3（オプション）から給紙したとき

メモ

● 用紙先端を持ちにくいときは青いダイヤルを矢印の方向に回転させて用紙の先端を持ちやすい位置に移動してください。

● MP トレイから給紙したとき

7 フロントカバーを閉じます。

8 MP トレイを使用しないときは、MP トレイを閉じます。

本体内部に用紙がつまったとき

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 つまった用紙が見えるときは、用紙をゆっくり引き出します。つまった用紙を簡単に引き出せないときは、何もせず、手順 3 へ進みます。

3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

4 装置内部の奥にあるカバーを開き、つまった用紙が見えるときは、用紙をゆっくり引き出します。用紙が引き出しにくいときは、補助のノブを回しながら、用紙を引き出します。
つまった用紙が見えないときは、手順 5 へ進みます。

5 定着器ユニット固定レバー（青色）を矢印の方向へ起こします。

6 ハンドルを持ち、定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

注

- LED ヘッドに当たらないように注意してください。

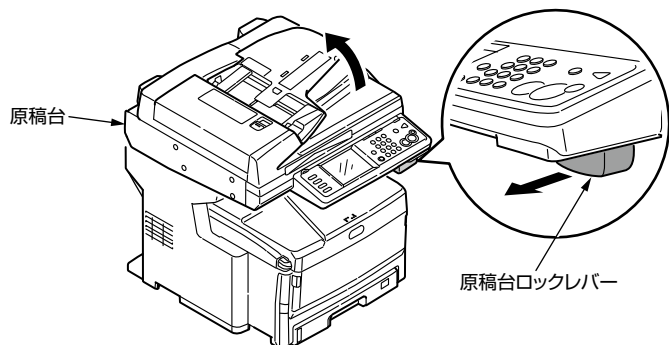
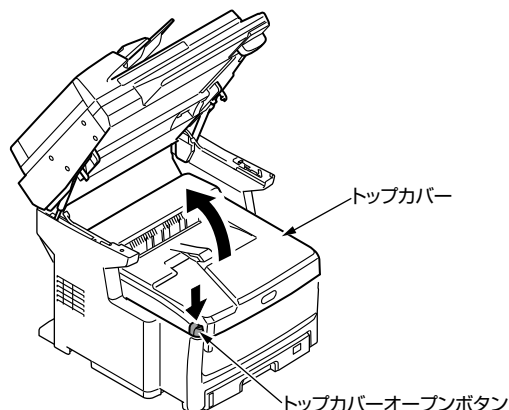
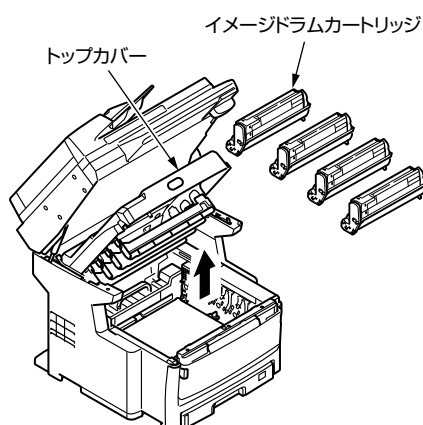
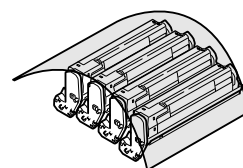
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

7 ジャム解除レバー（2 ヶ所）を引き上げ、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

8 ハンドルを持ち、定着器ユニットを装置の中へ静かに戻します。

9 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

10 トップカバーを閉じます。

11 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上からおさえ、固定します。

これで完了です。

注

- 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、<レポート印刷>キーから［機器設定］レポート印刷を行なうか、白紙等を数回印刷してください。

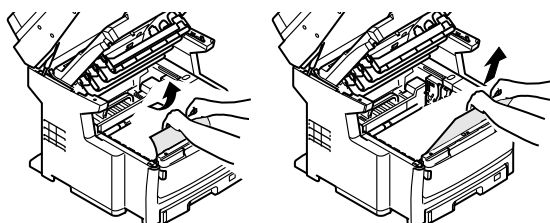
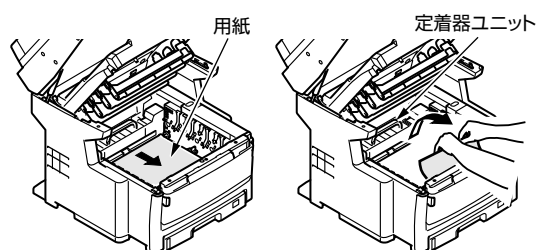
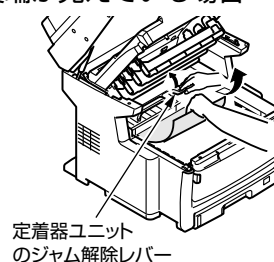
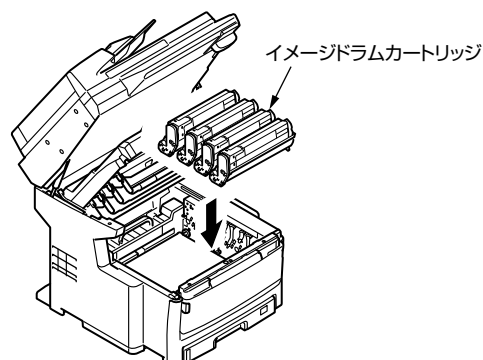
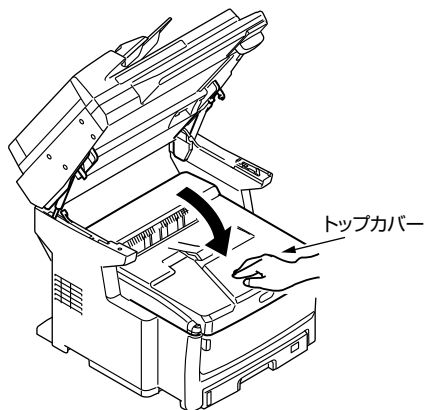
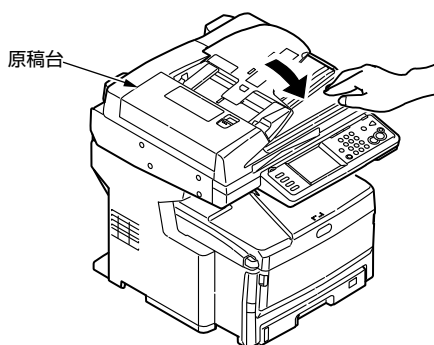
■つまった用紙を取り除いてもエラーが解除されないとき

以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

3 イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

4 取り出したイメージドラムカートリッジに光があたらないように紙をかぶせます。

注

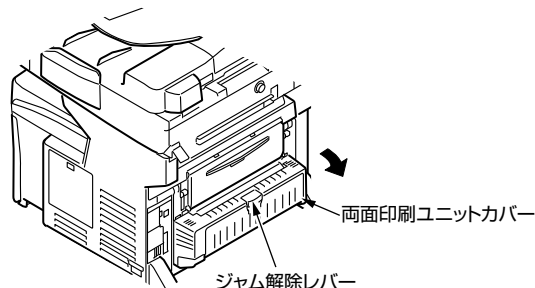
- ドラムカートリッジの緑色の筒の部分は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5 分間以上は放置しないでください。

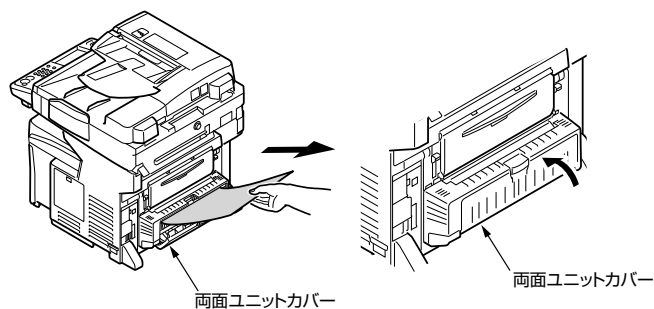
5 つまっている用紙をゆっくり引き出します。

- 用紙先端が見えている場合

- 用紙の先端も後端も見えない場合

- 用紙の後端が見えている場合

6 イメージドラムカートリッジを戻します。

7 トップカバーを閉じます。

8 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上からおさえ、固定します。

これで完了です。

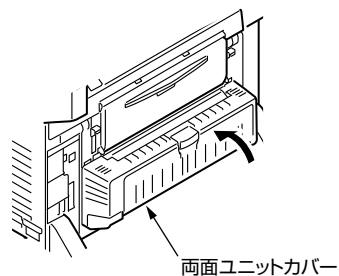
両面印刷ユニットに用紙がつまったとき

両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しています。

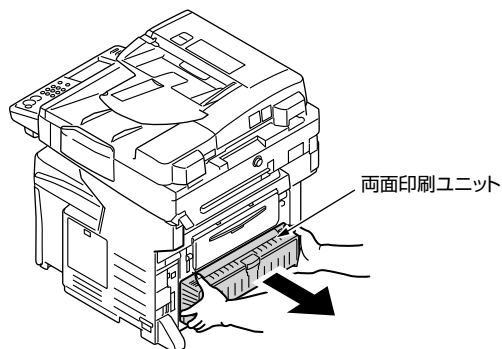
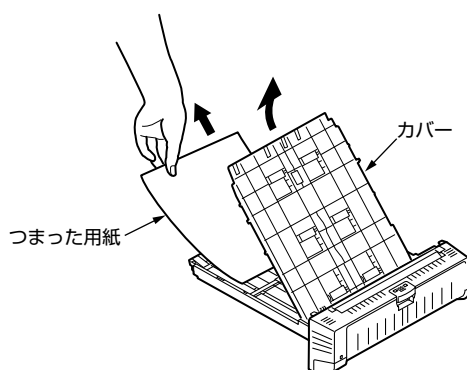
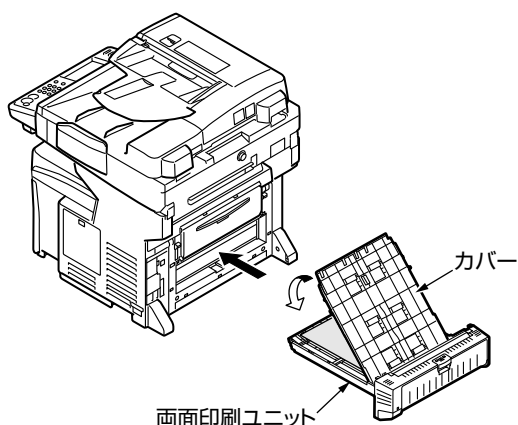
1 装置の背面の両面印刷ユニット部のジャム解除レバーを押し、両面印刷ユニットカバーを開けます。

2 つまった用紙を取り出します。

つまった用紙が見えないときは、何もせず、手順 3 に進みます。

3 両面印刷ユニットカバーを閉じます。

手順 2 でつまった用紙を取り除いた場合は、これで完了です。

手順 2 でつまった用紙が見えなかった場合は、つまった用紙を自動的に排出し、紙づまりを解消します。

4 用紙を自動的に排出しない場合は、両面印刷ユニットを引き抜きます。

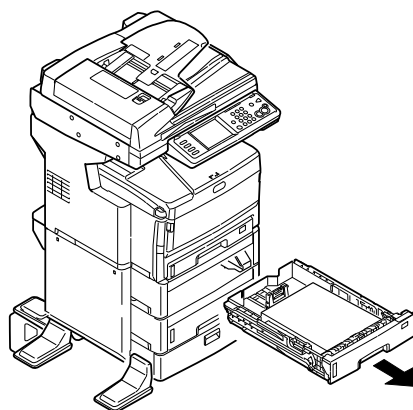
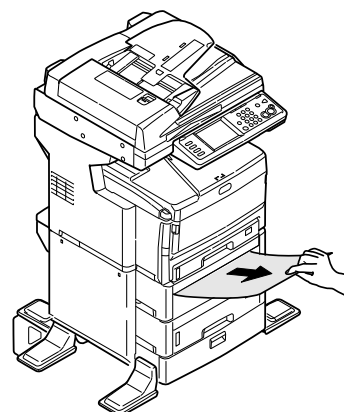
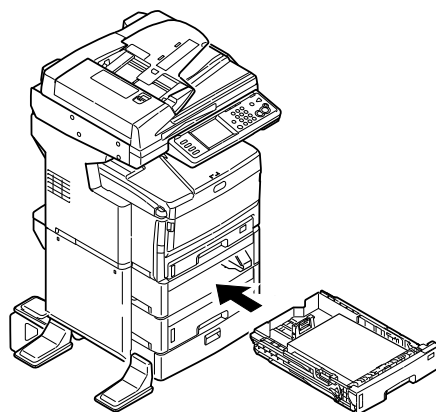
注

- 両面印刷ユニットを引き抜く前に以下の操作を行ってください。
- 操作パネルの<プリント中割込み>キーを、ピピッと音が鳴るまで（約 10 秒）押したままにします。ディスプレーに「機器の電源をお切りください」と表示されるまで（約 1 分間）、待ちます。表示されたら、電源スイッチを OFF にします。いきなり電源を切ると装置が故障する恐れがあります。

5 カバーを上げ、つまった用紙を取り除きます。

6 カバーを下ろし両面印刷ユニットを元の位置に戻します。

これで完了です。

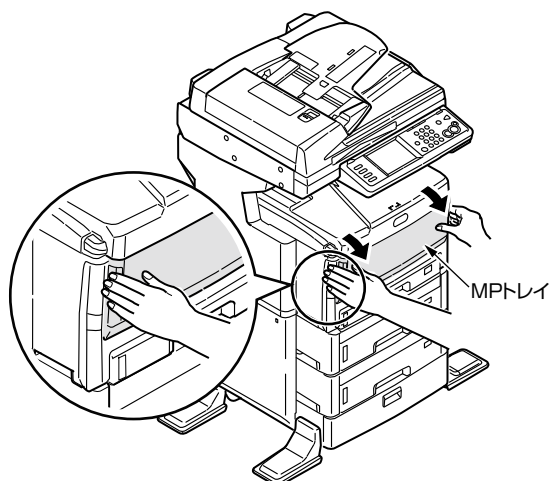
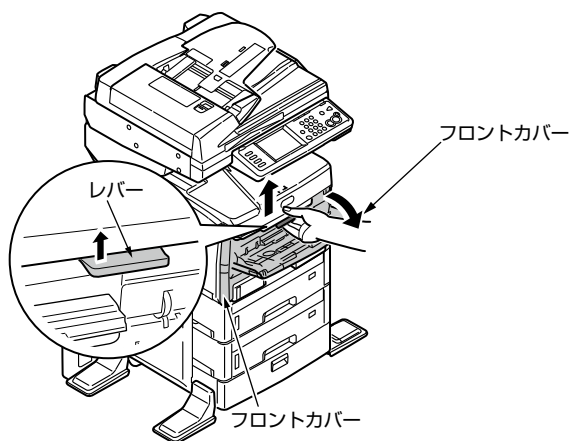
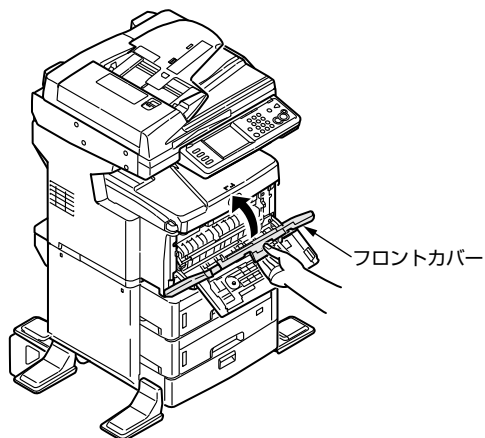
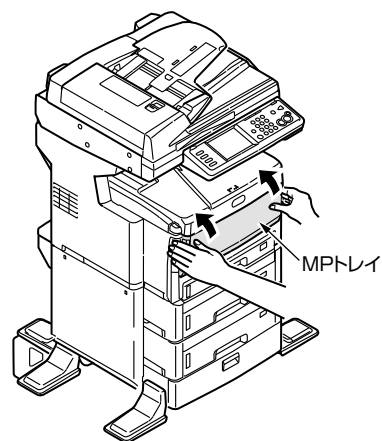
トレイ 2、トレイ 3（オプション）に用紙がつまったとき

ここでは、トレイ 2 が紙づまりしたときの手順を例にしています。

トレイ 3 の場合も同様の手順で行います。

1 トレイ 2 のカセットを抜きます。

2 つまった用紙を取り除きます。

3 用紙カセットを戻します。

注

- 用紙カセットを戻しただけでは、エラーは解除されません。必ず、次の手順 4 ～ 7 を行なってください。

4 MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

5 中央のレバーを上方に押してフロントカバーを開きます。

6 フロントカバーを閉じます。

7 MP トレイを閉じます。

これで完了です。

原稿がつまったとき

原稿がつまると、アラーム音とともに操作パネルにメッセージが表示されます。

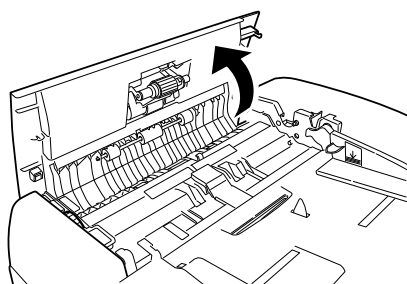
原稿カバーを開くと、次の操作方法を示すメッセージが表示されます。

以下の手順にしたがって、慎重に取り除いてください。

! 注

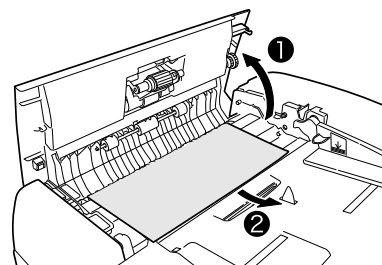
- 原稿を引き抜くことができない場合は無理に引き抜かず、ダイヤルを回し、つまった原稿を送り出してください。無理に引き抜くと原稿が破れるおそれがあります。

1 原稿カバーを開けて取り除きます。

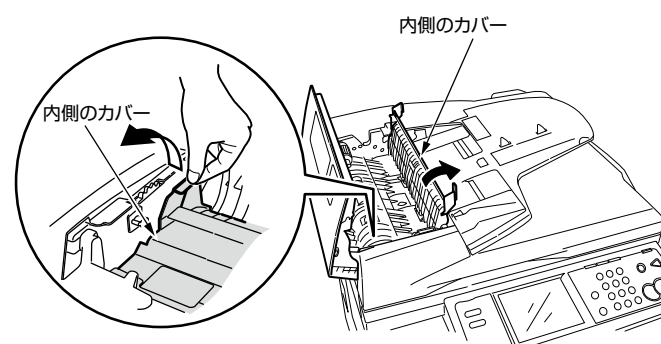
(1) 原稿カバーオープンレバーを押し上げ、原稿カバーを開けます。

(2) つまっている原稿を取り除きます。

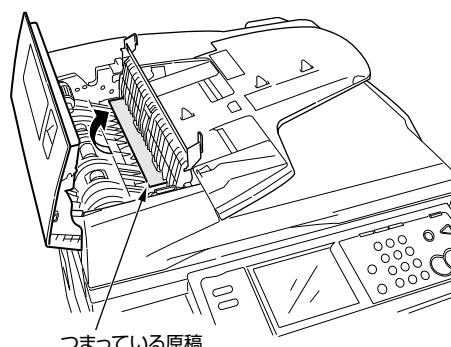
つまっている原稿を取り除くことができない場合は手順２へ進みます。

! 注

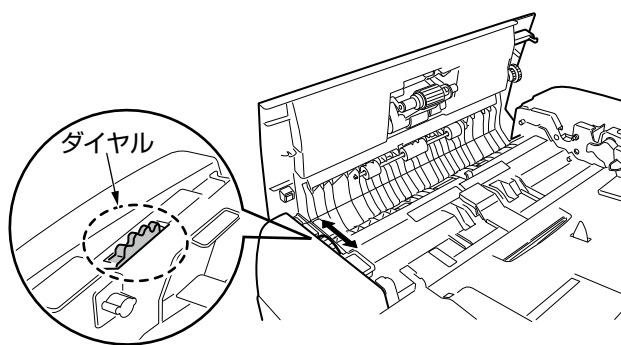
- 原稿は無理やり引き抜かないでください。

(3) 原稿を取り除いたら、手順４へ進みます。

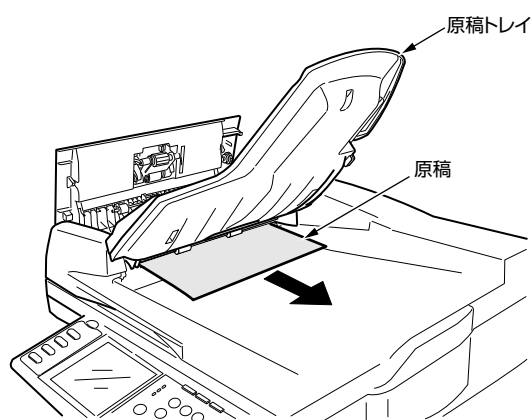
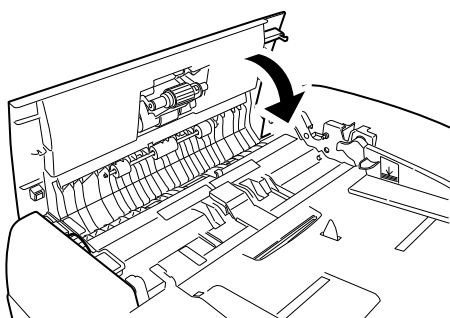
2 内側のカバーを開けて取り除きます。

(1) 内側のカバーを開けます。

(2) つまっている原稿の先端が見えるときは、静かに引き抜きます。

原稿の先端が見えないときは、内側のカバーを閉じ、手順３へ進みます。

(3) 原稿を取り除いたら、内側のカバーを閉じ、手順４へ進みます。

3 ダイヤルを回して取り除きます。

(1) ダイヤルを回し、つまった原稿を送り出します。

(2) 原稿トレイを起こします。

(3) つまっている原稿を静かに引き抜きます。

4 原稿カバーを閉じます。

これで完了です。

メモ

- コピー中にエラーが発生した場合は、コピーはキャンセルされます。

操作パネルにエラーメッセージが表示されるとき

アラームが鳴ったとき

アラームは４秒間鳴ります。アラームの内容は用紙に印刷されるので、メッセージを確認して対処してください。

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

エラーコードが表示されたとき

参照

● お客様相談センターについては、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポート」をご覧ください。

D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話し中	▶相手が話し中のため少し時間をあけて再送信してください。
	D.0.3	＜ストップ＞キーが押されました	▶再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶入力したファクス番号に誤りがある可能性があります。正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	ダイヤルトーン検出できなかったとき	▶回線接続状況を確認してください。本機を直接アナログ電話公衆回線網に接続していない場合 (PBX 回線や IP 電話回線等) は、ダイヤルトーン検出設定を OFF に設定してください。基本操作編「ダイヤルトーン検出を設定する」をご覧ください。工場出荷設定はダイヤルシーン検出 ON になっています。

R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶送信側の操作ミスが考えられます。相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録のみ記載）	▶何もする必要はありません。
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたは＜ストップ＞キーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	
	R.4.1	受信データ長オーバー	
	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	
	R.4.4	メモリー容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた送信側で＜ストップ＞キーを押した	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。
	R.5.2	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶相手側を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿がないなど。
	R.8.10 R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。

T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種が G3 機でない	▶当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時に<ストップ>キーを押した（通信管理記録のみ表示）	▶再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
		相手側機と設定が合わない	▶相手側の設定を確認してください。相手側で特殊な設定をしている場合は、その設定を解除するよう依頼してください。
	T.2.2	相手側機と設定が合わない	▶相手側の設定を確認してください。
	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	T.3.1	連続送信時 2 枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶エラーが発生したページより再度送信してください。
		900mm 以上の原稿を送信した	▶ 1 ページを 900mm 以内に切って送信してください。
		交信中断のあと“ランプを確認してください”と表示した場合は光源の光量不足	▶電源スイッチを OFF → ON してコピーをとってみてください。「ランプを確認してください」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプを確認してください」表示となる場合はお客様相談センターへご連絡ください。
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶送信したページはすべて相手側に届いていますが、1 部写りが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
ECM送信	T.5.1 T.5.2 T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	T.8.1	受信モードが合わない	▶相手側を確認してください。相手側機がファクスではないことがあります。
	T.8.10 T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

メッセージが表示されたとき

共通

［カラー名］：Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K(ブラック）のいずれかを表示します。

［トレイ名］：トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、MP トレイのいずれかを表示します。

［エラーコード］：エラーコードを表示します。

表示されるメッセージ	エラーコード	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
15 文字以内で変換してください				文字入力で未確定文字を 15 文字以上入力しようとしました。15 文字以内で変換してください。
ADF Motor FAN LOCK エラー		○	○	スキャナーのファンエラーを検出しました。 装置を再起動してください。 エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
FATAL ERROR：［エラーコード］		○	○	装置にエラーが発生しました。 装置を再起動してください。 再起動後に、同じエラーが発生したら、もう一度装置を再起動してください。 エラーが直らない場合や、動作中に再び同じエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
HDD Error To HDD format Select［Format］ To shut down Select［Cancel］		○	○	フォーマットが必要なハードディスクを検出しました。 ［Format］を押すと、ハードディスクをフォーマットした後、装置を再起動します。 ［Cancel］を押すと、装置をシャットダウンします。
HDD Error：［エラーコード］ To HDD format Select［Format］ To shut down Select［Cancel］	250	○	○	装置の初期化時に、暗号化認証関連のファイルが壊れていることを検出しました。ハードディスクの再フォーマットにより復旧します。 ［Format］を押すと、ハードディスクをフォーマットした後、装置を再起動します。 ［Cancel］を押すと、装置をシャットダウンします。
Inspection is required. PU Flash Error		○	○	ファームウェアのエラーが発生しました。お客様相談センターへご連絡ください。
LDAP サーバでの検索が長引いてタイムアウトが発生しました				LDAP サーバーでの検索がタイムアウトしました。
LDAP サーバとの通信が切断されました				LDAP サーバーとの接続が切断されました。
LDAP サーバ内に存在しない DN 名が設定されています				LDAP サーバーに存在しない DN 名を指定しました。
LDAP サーバの検索結果が 0 件でした				LDAP サーバーの検索結果が 0 件です。
LDAP サーバの検索結果が上限値をオーバーしています				LDAP サーバーの検索結果が上限を超えました。
LDAP サーバの設定ができていません 設定を見直してください				LDAP サーバーへの接続に失敗しました。

表示されるメッセージ	エラーコード	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
LDAP サーバの認証に失敗しました				LDAP サーバーの認証に失敗しました。
Please call service Scanner unit failed to detect printer unit.		○	○	スキャナーとプリンター間でエラーが発生しました。電源を OFF/ON してください。それでも直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
SIP Firmware Missing.		○	○	スキャン画像処理部でエラーが発生しました。電源を OFF/ON してください。それでも直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
アクセス制限エラー 許可されていないユーザのデータを削除しました		○	○	許可のないユーザーが印刷もしくは、PC ファクスしようとしたため、データを削除しました。
課金ログ書き込みエラー <ストップ>キーを押してください		○	○	課金書き込み中にエラーが発生しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
課金ログバッファフル（古いログを削除）		○	○	課金ログバッファフルの為、過去の古い課金ログが削除されます。 過去に取得した古い課金ログを残す為には、ジョブアカウンティング・サーバーソフトから装置内の課金ログを取得する必要がある。もしくは、ジョブアカウンティング･サーバーソフトの“ログフル時の操作”設定を“ログを取らない”に変更する必要があります。
カバーを確認してください 点滅箇所のカバーを閉じてください		○		表示されている箇所のカバーが開いています。 カバーを閉じてください。
カバーを確認してください 点滅箇所のカバーを閉じてください		○		原稿カバーが開いています。 原稿カバーを閉じてください。
紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください		○	○	紙づまりが発生しました。 「管理者設定」-「機器管理」-「音設定」-「紙詰まりエラー音」設定が ON の場合のみ､アラームブザーは鳴動します。
[カラー名] イメージドラムの交換時期です		○	○	表示している色のイメージドラムの寿命が近づいています。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」の「ニアライフ時のステータス」設定が [有効]、かつ「ニアライフ時の LED」設定が [無効] に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」設定が [無効] に設定されている場合は、本メッセージは表示されず、アラームランプも点灯しません。
[カラー名] イメージドラムを交換してください		○	○	表示されている色のイメージドラムが寿命になりました。 新しいイメージドラムと交換してください。
[カラー名] イメージドラムをセットし直してください		○	○	表示されている色のイメージドラムが正しくセットされていません。イメージドラムをセットし直してください。
[カラー名] トナーが正しくありません		○	○	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。純正のトナーカートリッジを使用してください。

表示されるメッセージ	エラーコード	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	550 551 552 553	○	○	表示している色のトナーカートリッジが認識できません。純正のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 550 : Y Error 551 : M Error 552 : C Error 553 : K
[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	554 555 556 557	○	○	表示している色のトナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 554 : Y Error 555 : M Error 556 : C Error 557 : K
[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	614 615 616 617	○	○	表示している色のトナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 614 : Y Error 615 : M Error 616 : C Error 617 : K
[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	620 621 622 623	○	○	表示している色のトナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 620 : Y Error 621 : M Error 622 : C Error 623 : K
[カラー名] トナーカートリッジを確認してください：[エラーコード]	540 541 542 543	○	○	表示している色のトナーセンサーに異常発生、またはイメージドラムカートリッジが正しくセットされていません。イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 Error 540 : Y Error 541 : M Error 542 : C Error 543 : K
[カラー名] トナーカートリッジを確認してください：[エラーコード]	544 545 546 547	○	○	表示している色のトナーカートリッジがロックされていません。トナーカートリッジのレバーを確認してください。 Error 544 : Y Error 545 : M Error 546 : C Error 547 : K
[カラー名] トナーがなくなりました		○	○	表示している色のトナーが無くなりました。新しいトナーカートリッジと交換してください。
[カラー名] トナーを交換してください		○	○	表示している色のトナーが少なくなってきたので、新しいトナーカートリッジを準備してください。 または、トナーカートリッジが純正品ではないので、純正のトナーカートリッジを使用してください。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時の LED」設定が無効に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。
[カラー名] トナーを交換してください		○	○	表示している色の廃棄トナーが一杯になり、トナー交換が必要です。
[カラー名] トナーを正しくセットしてください		○	○	表示している色のトナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジをセットしてください。
[カラー名] トナーを認識できません		○	○	表示している色のトナーカートリッジが表示している色の廃棄トナーが一杯になり、トナー交換が必要です。
原稿づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください		○	○	自動原稿送り装置からの原稿読み取り中に、原稿づまりが発生しました。 カバーを開けて詰まった原稿を取り除いてください。

表示されるメッセージ	エラーコード	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
しばらくお待ちください ネットワーク設定を保存中です				ネットワークの設定を変更しています。
ジョブログ書き込みエラー <ストップ>キーを押してください		○	○	システムジョブログ書き込み中にディスクアクセスエラーが発生し、ログが正常に書き込めませんでした。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
装置を再起動してください [エラーコード]： Fatal Error		○	○	装置にエラーが発生しました。装置を再起動してください。エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
装置を再起動してください [エラーコード]：ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｴﾗｰ	209	○	○	装置にエラーが発生しました。装置を再起動してください。エラーが直らない場合、お客様相談センターへご連絡ください。
ディスクオペレーションエラー<ｎｎｎ> <ストップ>キーを押してください		○	○	ファイルシステムにエラーが発生しました。エラーメッセージが消えない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
定着器の交換時期です		○	○	定着器の寿命が近づいています。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」の「ニアライフ時のステータス」設定が [有効]、かつ「ニアライフ時の LED」設定が [無効] に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」設定が無効に設定されている場合は、本メッセージは表示されず、アラームランプも点灯しません。
定着器を交換してください		○	○	定着器ユニットが寿命になりました。新しい定着器ユニットと交換してください。
定着器を交換してください ：[エラーコード]	354	○	○	定着器が寿命になりました。カウンタにより定着器が寿命に達したことを示すエラーであり、印刷を停止します。新しい定着器ユニットと交換してください。
定着器をセットし直してください		○	○	定着器をセットし直してください
定着器をセットし直してください：[エラーコード]	348	○	○	定着器をセットし直してください
点検をお受けください ｎｎｎ：SIP エラー				スキャン画像の処理に失敗しました。 電源を OFF/ON してください。それでも直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
点検をお受けください PU 通信エラー		○	○	ファームウェアのエラーが発生しました。お客様相談センターへご連絡ください。
点検をお受けください [エラーコード]： Fatal Error		○	○	装置にエラーが発生しました。お客様相談センターへご連絡ください。
電源を切り、しばらくお待ちください		○	○	装置が過熱しています。電源を切って、しばらくお待ちください。
電源を切り、しばらくお待ちください [エラーコード]：結露エラー	126	○	○	装置が結露しています。電源を切ってしばらくお待ちください。
[トレイ名] にカセットがありません		○	○	表示されているトレイに用紙カセットがありません。用紙カセットをセットしてください。

表示されるメッセージ	エラーコード	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
［トレイ名］に用紙を補給してください		○	○	表示しているトレイの用紙がなくなりました。 用紙を入れてください。 全トレイ用紙無しの場合のみ、アラームブザーが鳴り、アラームランプが点灯します。
パスワードが正しくありません				入力されたパスワードが間違っています。
ファイルシステムがいっぱいです <ストップ>キーを押してください		○	○	ファイルシステムの空き容量がなくなりました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイルシステムへの書込みは禁止されています		○	○	書き込みが禁止されているファイルシステムに書き込もうとしました。
ベルトの交換時期です		○	○	ベルトユニットの寿命が近づいています。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」の「ニアライフ時のステータス」設定が[有効]、かつ「ニアライフ時の LED」設定が[無効] に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」設定が無効に設定されている場合は、本メッセージは表示されず、アラームランプも点灯しません。
ベルトを交換してください		○	○	ベルトユニットが寿命になりました。新しいベルトユニットと交換してください。
ベルトを交換してください ：[エラーコード]	355	○	○	ベルトユニットが寿命になりました。カウンタによりベルト寿命に達したことを示すエラーであり、印刷を停止します。新しいベルトユニットと交換してください。
ベルトを交換してください ：[エラーコード]	356	○	○	廃トナーフルになりました。 新しいベルトユニットと交換してください。
ベルトをセットし直してください		○	○	ベルトユニットが正しくセットされていません。ベルトユニットをセットし直してください。
まもなく課金ログバッファが一杯になります				課金ログバッファの残りが少なくなってきました。
ミラーキャリッジエラー		○	○	スキャナーのキャリッジ動作にエラーが発生しました。 本機スキャナー部左側面のロック（2 ヶ所）を解除してください。
ミラーキャリッジ搬送用モード ミラーキャリッジが固定されています				スキャナーのミラーキャリッジが固定されています。 スキャナー部左側面のネジ（2 ヶ所）を解除位置へ回してください。
メッセージデータを確認してください メッセージデータ書き込み失敗：[エラーコード]	852	○	○	言語データの書き込みに失敗しました。お客様相談センターへご連絡ください。
メモリオーバー メモリオーバーしました		○	○	メモリー不足が発生しました。オプションの増設メモリーを追加するか、印刷データのサイズを減らしてください。 ［閉じる］ボタンを押下すると、エラー表示が消えます。
用紙サイズエラー 点滅箇所のカバーを開けて確認してください		○	○	用紙サイズがちがっているか、または重送が発生しました。

表示されるメッセージ	エラーコード	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
ランプを確認してください		○	○	スキャナーのランプが寿命になりました。または光学系の汚れなどにより、原稿を正常に読み取れません。 お客様相談センターへご連絡ください。 操作パネルに表示されていることを確認してください。
両面印刷ユニットを入れてください		○	○	両面印刷ユニットが抜かれています。両面印刷ユニットを取り付けてください。
ログインに失敗しました				無効な PIN 番号を入力しました。
割り込み移行中です				プリント中に<プリント中割込み>キーを押した場合、操作が可能になるまで表示されます。
割り込み解除中です				割り込み解除後、まだ割り込みしたときの動作が終了していません。「割り込みアイコン」が消えるまでお待ちください。
割り込み解除できませんでした				割り込み状態が解除できないときに<プリント中割り込み>キーが押下されました。 再度、<プリント中割り込み>キーを押下してください。
割り込みできませんでした <ストップ>キーを押してください				割り込み状態へ移行できないときに<プリント中割込み>キーが押されました。

プリント関連

表示されるメッセージ	アラームランプ（〇：点灯）	アラームブザー（〇：鳴動）	原因・処置のしかた
アクセス制限エラー 印刷制限されているため データを削除しました	〇	〇	印刷を許可されていないユーザーのデータを削除しました。
アクセス制限エラー カラー印刷制限されている ためデータを削除しました	〇	〇	カラー印刷を許可されていないユーザーのデータを削除しました。
アクセス制限エラー カラー印刷制限されている ためモノクロ印刷しました	〇	〇	カラー印刷を許可されていないユーザーのデータをモノクロ印刷しました。
暗号ジョブ削除中	〇		暗号化ジョブを削除しています。
印刷に必要な用紙がありません ［トレイ名］に用紙 ([用紙サイズ]) をセットしてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください	〇	〇	表示されているトレイに用紙がありません。表示されている用紙をセットしてください。
印刷に必要な用紙を補給してください MP トレイに用紙 ([用紙サイズ]) をセットしてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください			MP トレイに、表示している用紙サイズの用紙をセットしてください。
オフライン中です オンラインボタンで印刷可能になります			オフラインです。オンラインボタンを押してください。
温度調整中です.			ウォーミングアップ動作中、または、長時間の連続印刷などで装置内部温度が上昇したため、適切な温度になるまで印刷を一時停止しています。電源を切らずにこのままお待ちください。 装置の故障ではありません。
キャンセルされました			ユーザーにより印刷がキャンセルされました。
キャンセル中です			印刷待ちジョブをキャンセルしています。
検索中			印刷可能な暗号ジョブを検索しています。 印刷待ちジョブを検索しています。
検索をキャンセルしました			印刷可能な暗号ジョブの検索を中断しました。 印刷待ちジョブの検索を中断しました。
消去対象ファイルがいっぱいです	〇	〇	消去処理待ちの機密ファイルが一杯になりました。
ジョブがありません			印刷可能な保存ジョブが登録されていません。 印刷可能な暗号ジョブが登録されていません。 印刷待ちジョブが登録されていません。
ジョブを削除しました			保存ジョブを削除しました。 暗号ジョブを削除しました。 印刷待ちジョブを削除しました。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
データ削除中			受信したデータをキャンセルしています。
			管理者設定メニューの「機器管理」-「プリンタ機能」-「印刷メニュー」-「印刷補正」-「ジャムリカバリー」が「無効」に設定されているときにジャムが発生した場合、印刷ジョブの残りのデータをキャンセルしています。
			プリントジョブアカウンティング（オプション）で印刷が許可されていないユーザーからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザーのジョブ (2) 使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザーのジョブ (3) 設定された制限値を超えたユーザーのジョブ
[トレイ名] にカセットがありません [トレイ名] を閉じてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください	○	○	表示されているトレイに用紙カセットがありません。用紙カセットをセットしてください。
＜受信したファクス以外を印刷している場合の表示＞ [トレイ名] の用紙が違います [トレイ名] に用紙 ([用紙サイズ][用紙種類]) をセットしてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください ＜受信したファクスを印刷している場合の表示＞ [トレイ名] の用紙が違います [トレイ名] に 受信印刷用紙 ([用紙サイズ][用紙種類]) を セットしてください 選択したトレイから印刷を継続する場合は、 「印刷再開」を押してください	○	○	表示されているトレイの用紙が間違っています。 表示されている用紙サイズ、種類の用紙をセットしてください。
認証印刷保存期限切れのため削除しました <ストップ>キーを押してください	○	○	認証印刷のデータ保存期間が切れたため、データを削除しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル消去中	○		機密ファイルを消去中です。
プリンタ準備中です			プリンター部が印刷可能な状態になっていません。 印刷可能になると、自動的にメッセージは消えますので、しばらくそのままお待ちください。
ポストスクリプトエラー			ポストスクリプトエラーが発生しました。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
無効なデータを受信しました <ストップ>キーを押してください	○	○	無効なデータを検出したため、データを削除しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。

コピー関連

以下のメッセージは、コピー画面上に表示されます。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
25 ～ 400%の範囲で倍率を再入力してください			入力した倍率では使用できません。正しい倍率を入力し直してください。
印刷中です しばらくお待ちください			他のジョブを印刷しているため、コピーを開始することができません。 印刷が完了するまでお待ちください。 コンピューターから送られたデータを印刷している場合は、<プリント中割込み>キーを押すと、コピーを開始できます。
オフライン中です。プリンタ画面のオンラインボタンで印刷可能になります			オフライン状態のため、コピーを開始することができません。 プリンター画面のオンラインボタンを押してください。
カラーコピーする権限がありません			カラーコピーを許可されていないユーザーが、コピーしようとしました。
カラーコピー中につきモノクロコピーは無効です			継続読取が設定され、<カラースタート>キーが押下されてコピーを開始しましたので、<モノクロスタート>キーは無効です。次のページを読み取る場合には、「次のページを読む」ボタンを押下するか、<カラースタート>キーを押下してください。
原稿サイズを選択し「確定」を押してください			読み取りサイズ自動で原稿サイズが検知できなかった場合にこのメッセージが表示されます。
コピージョブがキャンセルされました	○		表示のエラーが発生したため、コピージョブがキャンセルされました。 ［閉じる］を押すとこのメッセージは消えます。
コピージョブをキャンセルしています	○		表示のエラーが発生したため、コピージョブをキャンセルしています。 しばらくお待ちください。
			コピージョブをキャンセルしています。しばらくお待ちください。
最適なサイズの用紙がありません。 トレイの用紙サイズやサイズダイヤル位置を確認してください。			コピーする用紙をセットしてあるトレイを選択し、最初からやりなおしてください。 または、コピーする用紙をセットしたトレイの印刷トレイ指定を ON または ON(優先)、用紙種類を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。 用紙の両面にコピーする場合は、普通紙をセットし、セットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。
指定の用紙にはコピーできません			設定されているトレイの用紙サイズにはコピーできません。 他の用紙がセットされたトレイを選択してください。
自動原稿送り装置に原稿をセットしてください			ミックス原稿と両面原稿コピーでは、ガラス面は使用できません。自動原稿送り装置に原稿をセットしてください。
自動原稿送り装置は使用できません。 ガラス面に原稿をセットしてください			ページ分割の時、自動原稿送り装置に原稿が置かれています。ガラス面に原稿をセットしてください。
縮小範囲を超えています 倍率を設定してください			設定されているトレイの用紙サイズにコピーする場合、自動倍率の計算結果が 25% 未満になり、コピーできません。 拡大 / 縮小設定にて倍率を設定してください。
…と同時に設定できません			…と同時に設定できない機能を組み合わせようとしています。設定を見直してください。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
［トレイ名］の用紙は、両面コピーできません。 ［トレイ名］の用紙サイズやサイズダイヤル位置を確認してください。			表示しているトレイに普通紙をセットします。 トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 の場合は、用紙サイズダイヤルを合わせます。MP トレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。 用紙をセットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。 使用できる用紙については、セットアップ編「用紙のセットのしかた」をご覧ください。
［トレイ名］の用紙は、両面コピーできません。 ［トレイ名］の用紙設定 (用紙厚) を確認してください。			表示しているトレイに普通紙をセットします。 トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 の場合は、用紙サイズダイヤルを合わせます。MP トレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。 用紙をセットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。 使用できる用紙については、セットアップ編「用紙のセットのしかた」をご覧ください。
［トレイ名］の用紙は、両面コピーできません。 ［トレイ名］の用紙設定 (用紙種類) を確認してください。			表示しているトレイに普通紙をセットします。 トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 の場合は、用紙サイズダイヤルを合わせます。MP トレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。 用紙をセットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。 使用できる用紙については、セットアップ編「用紙のセットのしかた」をご覧ください。
［トレイ名］は、自動トレイ設定では利用できません。 ［トレイ名］の用紙設定 (印刷トレイ指定) を確認してください。			表示しているトレイの印刷トレイ指定を ON または ON(優先）に設定し、最初からやりなおしてください。
［トレイ名］は、自動トレイ設定では利用できません。 ［トレイ名］の用紙設定 (用紙種類) を確認してください。			表示しているトレイの用紙種類を普通紙または再生紙に設定し、最初からやりなおしてください。
入力範囲を超えてます 入力した値を確認してください			入力した値が有効範囲外です。値を確認して、再度入力してください。
倍率を設定してください			設定されているトレイの用紙サイズには、自動倍率でのコピーはできません。 拡大 / 縮小設定にて倍率を設定してください。
モノクロコピー中につきカラーコピーは無効です			継続読取が設定され、<モノクロスタート>キーが押下されてコピーを開始しましたので、<カラースタート>キーは無効です。次のページを読み取る場合には、「 次のページを読む 」ボタンを押下するか、<モノクロスタート>キーを押下してください。
有効な原稿サイズではありません			セットされている原稿サイズは、ページ分割とミックス原稿が利用できません。 読取サイズ設定にて原稿サイズを設定してください
読み取りを再開します 続きから読み取りを行う場合は、原稿をセットして「再開」ボタンを押してください			エラーが発生したため、一時的にコピージョブの動作が停止しましたが、エラーが解除されたので、残りの原稿の読み取り再開を確認しています。続きの原稿を読み取る場合は、自動原稿送り装置に原稿をセットしてから、「再開」ボタンを押してください。

ファクス関連

以下のメッセージは、ファクス画面上に表示されます。
<ストップ>キーを押してメッセージを消去する場合は、ファクス待機画面にて操作してください。
また、他のエラーが発生していない場合には、メッセージの消去に伴ってアラームランプも消灯します。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
オフライン中です。プリンタ画面のオンラインボタンで印刷可能になります			オフライン状態のため、受信したファクスを印刷することができません。 プリンター画面のオンラインボタンを押してください。
桁数オーバーです			名前や番号入力のとき、最大桁数を超えました。 最大桁数内で入力し直してください。
原稿がありません			F コードボックスに原稿がありません。
			F コード受信通知を確認してください。 F コード蓄積原稿リストを印刷して、原稿があるか確認してください。
			F コード掲示板原稿削除／印字で、ボックス選択時未登録、または原稿がない掲示板ボックスを選択しました。
原稿が蓄積済みです			F コードボックス原稿が蓄積されています。 F コードボックスの原稿が蓄積されているボックスの変更はできません。原稿を削除してください。
件数オーバーです			F コード掲示板原稿蓄積で、30 件以上蓄積しようとしました。
			同報送信で、テンキーでの相手先番号を 30 件以上指定しました。30 件以内で指定してください。
サブアドレスを入力してください			F コードボックスでサブアドレスが入力されていません。 サブアドレスを入力してください。
自動原稿送り装置に原稿をセットしてください			両面原稿送信では、ガラス面は使用できません。 自動原稿送り装置に原稿をセットしてください。
受信でメモリオーバーしました <ストップ>キーを押してください	○	○	受信中にメモリー不足になり、メモリーオーバーになりました。メモリーが空くのを待つか、不要な文書を削除してください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
受話器が上がっています	○	○	受話器が外れています。
親展 BOX です			F コード原稿蓄積、削除で選択したボックスが親展ボックスです。掲示板ボックスを選択してください。
正しい番号をどうぞ			ダイレクトメール防止番号入力時に、3 桁以下で［確定］が押されました。4 桁入力してください。
			F コード親展ボックスの暗証番号入力時に、3 桁以下で［確定］が押されました。4 桁入力してください。
			F コードポーリングまたは F コード送信でサブアドレスを入力せずに［確定］が押されました。サブアドレスを入力してください。
通信エラー <ストップ>キーを押してください	○	○	ファクスの送受信がエラー終了しました。 エラーの詳細を確認するには、[ファクス確認 / 中止] キーを押してください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
通信予約文書はありません			通信予約がないときに［通信予約表示］が押されました。
通信予約出来ません			ファクス送信予約が最大件数になりました。
通信履歴がありません			通信が一度も行われていない状態で、通信管理レポートの印字が指示されました。
通信履歴がありません			通信履歴画面でファクス送受信履歴がありません。
電話			オフフックボタンが押されたか、電話機を使用中です。

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
登録されていません			短縮に相手先番号がセットされていません。短縮などのリストを確認のうえ、操作してください。
			また、各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。各種登録をしてから再度操作してください。
番号が一致していません			ダイヤル 2 度押しの設定が ON のとき、再度入力した番号が 1 度目に入力した番号と一致しません。正しい番号を入力してください。
番号が間違っています			親展ボックスなどの暗証番号が間違って入力されました。正しい暗証番号を入力してください。
ファクスする権限がありません			ファクス送信が許可されていません。
「ファクス中止する時は＜ファクス確認 / 中止＞キーを押してください」			ファクス通信予約中に＜ストップ＞キーを押しました。＜ファクス確認／中止＞キーで通信を中止してください。
無効なデータを受信しました ＜ストップ＞キーを押してください	○	○	無効な PC ファクスデータを受信しました。 ＜ストップ＞キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
メモリオーバーしました ＜ストップ＞キーを押してください	○	○	メモリー不足が発生しました。オプションの増設メモリーを追加するか、PC ファクスデータのサイズを減らしてください。 ＜ストップ＞キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
もう既に入力されています			同じ番号が先に入力されています。確認して入力してください。
リアルタイム送信が予約されています			リアルタイム送信中、またはリアルタイム送信文書の通信予約中に他の宛先で通信が指示されました。リアルタイム送信終了まで待つか、またはリアルタイム送信文書の通信予約中を取り消してから、操作をしてください。
リアルタイム送信コマンドです 印刷できません			通信予約原稿の印刷を指示した予約番号が、リアルタイム送信の予約でした。

スキャナー関連

以下のメッセージは、スキャナー画面上に表示されます。

<ストップ>キーを押してメッセージを消去する場合は、スキャナー待機画面あるいは各スキャナー機能画面にて操作してください。

また、他のエラーが発生していない場合には、メッセージの消去に伴ってアラームランプも消灯します。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
DNS 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	DNS サーバーから IP アドレスを取得できませんでした。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
IP アドレスの取得に失敗しました DHCP 設定を確認してください			DHCP サーバーから IP アドレスを取得できませんでした。
PC との接続に失敗しました <ストップ>キーを押してください	○	○	スキャン To PC の時に、コンピューターとの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
POP3 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	POP3 サーバーへの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
POP3 ログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ScanToLocalPC する権限がありません			スキャン To ローカル PC 機能の利用が許可されていません。
ScanToMail する権限がありません			スキャン To メール機能の利用が許可されていません。
ScanToNetworkPC する権限がありません			スキャン To ネットワーク PC 機能の利用が許可されていません。
ScanToUSB する権限がありません			スキャン To USB メモリ機能の利用が許可されていません。
SMTP 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	SMTP サーバーへの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
SMTP 認証非サポート <ストップ>キーを押してください	○	○	SMTP サーバーが認証に対応していません。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
SMTP ログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	SMTP サーバーへのログインに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
USB メモリが一杯のため保存できませんでした <ストップ>キーを押してください	○	○	USB メモリーが一杯になりました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
USB メモリが未接続のため保存できませんでした <ストップ>キーを押してください	○	○	スキャン To USB メモリを実行中に USB メモリーが抜かれました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ＵＳＢメモリをセットしてください USB メモリ未装着です			USB メモリーが未装着です。USB メモリーを本機にセットしてください。

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

表示されるメッセージ	アラームランプ （○：点灯）	アラームブザー （○：鳴動）	原因・処置のしかた
USB Hub をはずしてください USB Hub が接続されています	○	○	USB ハブが接続されました。 この装置では USB ハブは使用できません。取り外してください。
書き込みに失敗しました <ストップ>キーを押してください	○	○	USB メモリーが書き込み禁止になっています。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
キャンセルしました USB メモリは取り外し可能です			スキャン To USB メモリが完了しました。USB メモリーの抜き取りが可能です。
キャンセル中です			スキャンをキャンセル中です。 USB メモリーへのデータ書き込みをキャンセルしています。
共有名を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	共有フォルダー名が正しくありません。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
検索をキャンセルしました			LDAP サーバーでの検索を中断しました。
サーバ設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイルサーバーへの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
サーバログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイルサーバーへのログインに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
接続した USB 機器をはずしてください 対応していない USB 機器が接続されました	○	○	対応していない USB 機器が接続されました。USB 機器を本機から外してください。
送信キャンセル中			メール送信またはファイル送信をキャンセルしています。
送信をキャンセルしました			メール送信またはファイル送信がキャンセルされました。
ディレクトリに入れません <ストップ>キーを押してください	○	○	ＦＴＰサーバーのディレクトリーに入れませんでした。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
転送タイプを変更してください <ストップ>キーを押してください	○	○	FTP サーバーへのファイル送信に失敗しました。 FTP サーバーのデータ転送タイプを変更してください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル書き込み失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	スキャン To ネットワーク PC で、ファイルの書き込みに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル送信エラー <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイル送信中にエラーが発生しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル名を変更してください <ストップ>キーを押してください	○	○	サーバーで許可されていないファイル名を使用しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
保存領域が一杯です <ストップ>キーを押してください	○	○	サーバーの保存領域が一杯です。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
メモリオーバーしました <ストップ>キーを押してください	○	○	原稿読み取り中に、メモリー不足が発生しました。 スキャナー待機画面あるいは各スキャナー機能の画面で<ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
メール送信エラー <ストップ>キーを押してください	○	○	E メール送信中にエラーが発生しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
利用不可能なサーバです <ストップ>キーを押してください	○	○	利用できないサーバーです。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。

プリンターに関するトラブル

考えられる原因と対処方法を参考にしてください。それでも解決しない時は、お客様相談センターへご相談ください。

一般的な原因

■ Windows/Macintosh　共通

● 本機の電源が入っていない。
⇒　電源を入れてください。

● ケーブルが外れている。
⇒　ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

● ケーブルに問題がある。
⇒　予備のケーブルがあれば取り替えてみてください。

● [オフライン] になっている。
⇒　<プリンタ>キーを押した後、[オンライン] を押してください。

● 操作パネルにエラーメッセージが表示されている
⇒　「メッセージが表示されたとき」(P.20)を参考に、対処してください。

● インターフェースの設定が無効になっている。
⇒　操作パネルで、お使いのインターフェースの設定を確認してください。

● 印刷機能に問題がある。
⇒　<レポート印刷>キーを押し、機器設定印刷ができるか確認してください。

■ Windows をお使いの方

● [通常使うプリンタ] になっていない。
⇒　[通常使うプリンタ] に設定してください。

● プリンタードライバーの出力ポートが間違っている。
⇒　プリンターケーブルを接続した出力ポートを指定してください。

● 他のインターフェースからの印刷を処理しています。
⇒　処理が完了するまでお待ちください。

● 操作パネルに「無効なデータを受信しました」と表示され印刷しません。
⇒　本機の操作パネルの<機器設定>キーを押し、[管理者設定] - [プリンタ機能] - [印刷メニュー] - [印刷補正] のメニュー設定で「タイムアウト印刷」の設定値を長くしてみてください。

● 印刷が自動的にキャンセルされます。
⇒　プリントジョブアカウンティング(オプション)を使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、本機のログバッファーがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティングユーザーズマニュアル」をご覧ください。

ネットワーク接続の問題

■ Windows/Macintosh　共通

● クロスケーブルを使っている。
⇒ ストレートケーブルを使用してください。

● ケーブルを接続する前に、本機の電源を入れた。
⇒ ケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。

● ハブとの相性に問題がある / がよくない。
⇒ 操作パネルで、以下のように設定を変更してください。

1 <機器設定>キーを押します 。
2 [管理者設定］を押します。
3 管理者パスワードを入力し、[確定］を押します。
4 [ネットワーク管理］を押します。
5 [ネットワーク設定］を押します。
6 [▶］を 2 回押し、ネットワーク設定画面［3/4］を表示します。
7 [ハブとの接続］を押します。
8 [10BASE-T　HALF］を押します。
9 [確定］を押します。
10 <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

■ Windows をお使いの方

● IP アドレスが間違っている
⇒ 本機の IP アドレスの設定と、コンピューター上で設定している本機の IP アドレスが一致しているか確認してください。OKI LPR ユーティリティをお使いの方は、OKI LPR ユーティリティを起動し、本機を選択し、[リモートプリント］-［プリンタの再設定］を選択し、[IP アドレス］が本機の IP アドレスと一致しているか確認してください。正しい IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

■ UNIX をお使いの方

次のことを確認してください。

● 「etc/hosts ファイル」に本機の［IP アドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。

● lp プロトコルを利用する場合は、「etc/printcap ファイル」にリモートプリンターの論理プリンター名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンター名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

● ftp プロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリー名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

USB 接続の問題

■ Windows/Macintosh　共通

● ケーブルが規格に合っていない。
　⇒ USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。

● USB ハブを使用している
　⇒ 本機とコンピューターを直接接続してみてください。

● プリンタードライバーが正しくインストールされていない。
　⇒ 本書の手順に従って、インストールし直してください。

■ Windows をお使いの方

● プリンターアイコンが［オフライン］になっています。
　⇒ プリンターアイコンを右クリックして［プリンタをオフラインにする］のチェックを外してください。

● 切替器、バッファー、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。
　⇒ 本機をコンピューターに直接接続してみてください。

● USB で動作する他のプリンタードライバーがインストールされています。
　⇒ 他のプリンタードライバーを削除してみてください。

プリンタードライバーのインストールがうまくいかない

USB 接続の問題

■ Windows をお使いの方

- ［プリンタ］フォルダーにプリンターアイコンが作成されない場合
  プリンタードライバーが正しくセットアップされていません。
  基本操作編「USB 経由でセットアップする（Windows)」の手順に従って、再度プリンタドライバのセットアップを行なってください。
- 1 つのプリンタードライバーしかインストールできない
  2 つ目以降のプリンタードライバーをインストールする場合は以下のようにしてください。

1. セットアップブログラムを起動します。
2. 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。
3. 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
   詳細は、基本操作編「USB 接続でセットアップする（Windows)」をご覧ください。
4. ［プリンタ］フォルダー（Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2003 では［プリンタと FAX］フォルダー）で 2 つ目以降のプリンターアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
5. ［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

- 「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合
  プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行なってください。

1. 本機とコンピューターの電源が OFF になっていることを確認します。
2. USB ケーブルを接続します。
3. 本機の電源を ON にします。
4. Windows を起動します。
5. 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

各 OS に関する制限事項

■ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 に関する制限事項

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
● PS プリンタードライバー ● Network Extension	ヘルプが表示されない。	ヘルプの表示には対応しておりません。
● PS プリンタードライバー ● PCL プリンタードライバー ● カラー調整ユーティリティー ● 色見本印刷ユーティリティー ● Network Extension ● PS ハーフトーン調整ユーティリティー ● プリントジョブアカウンティング Lite ● プリントジョブアカウンティングクライアント ● ActKey ● Configuration Tool	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラーやユーティリティーの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラーやユーティリティーを管理者権限で実行するために必要ですので、[続行] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックすると、インストーラーやユーティリティーは起動されません。
● カラー調整ユーティリティー ● 色見本印刷ユーティリティー ● Network Extension ● PS ハーフトーン調整ユーティリティー ● プリントジョブアカウンティング Lite ● プリントジョブアカウンティングクライアント	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます)、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

■ Windows XP Service Pack2/Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

● Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack1 セキュリティー強化機能搭載では、Windows ファイアウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタードライバー･ユーティリティーに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタードライバー全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバー側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンター検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルーターを超えるセグメントに対してプリンターの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンターは問題ありません 。プリンターの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます 。
プリントジョブアカウンティング Lite	プリンター検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルーターを超えるセグメントに対してプリンターの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンターは問題ありません 。プリンターの検索ができない場合でも、ログ取得プリンターの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
プリントジョブアカウンティング Lite	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	Windows XP Service Pack1 以前に、プリントジョブアカウンティングにプリンターを登録し、ログの取得を開始している状態で、Windows XP Service Pack2 にアップデートを行うと、左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Configuration Tool	プリンター検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルーターを超えるセグメントに対してプリンターの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンターは問題ありません 。プリンターの検索ができない場合でも、「ツール」-「環境設定」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	[Windows ファイアウォール] - [例外] - [プログラムの追加] を開き、[参照] をクリックします。 以下のファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。 J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥java.exe J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥javaw.exe J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥java.exe J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorer を起動し、[ツール] - [インターネットオプション ...] - [プライバシー] を開き、[ポップアップ ブロック] の [設定] ボタンをクリックします。 [許可する Web サイトのアドレス] に PrintSuperVision の URL を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

※詳細は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）の最新対応情報をご覧ください。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Web Driver Installer	プリンター検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルーターを超えるセグメントに対してプリンターの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンターは問題ありません 。プリンターの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を *（例：192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し、［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］をご覧ください。

※詳細は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）の最新対応情報をご覧ください。

コピーに関するトラブル

コピーできない

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
コピーできない	電源は入っていますか？	電源を入れてください。	セットアップ編 「電源を入れる」
	本体が初期化中ではありませんか？	初期化が終わるまでお待ちください。	—
	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	セットアップ編 「原稿をセットする」
	用紙はありますか？	用紙を補給してください。 また、カセットが装置に差し込まれているか確認してください	セットアップ編 「用紙のセットのしかた」
	原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？	適したサイズの用紙をセットしてください。	セットアップ編 「用紙のセットのしかた」
	自動トレイ選択時の利用が可能な設定になっていますか？	使用する用紙がセットされたトレイの印刷トレイ指定を ON あるいは ON（優先）に設定してください。	セットアップ編「給紙トレイの自動切り替えについて（自動給紙切り換え機能）」
	両面印刷が可能な用紙がセットされていますか？	コピーする用紙のサイズ・用紙種類・用紙厚の設定によっては両面印刷できません。両面印刷が可能な用紙をトレイにセットして、サイズ・用紙種類・用紙厚を正確に設定してください。	セットアップ編 「用紙について」
	用紙種類の設定は普通紙または再生紙になっていますか？	自動トレイ選択にてコピーを行う場合には、用紙種類を普通紙または再生紙に設定してください。	セットアップ編 「用紙のセットのしかた」
	用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	7 ページ
	トナーは無くなっていませんか？	新しいトナーカートリッジと交換してください。	67 ページ
	イメージドラムが寿命になっていませんか？	新しいイメージドラムと交換してください。	72 ページ
	定着器ユニットが寿命になっていませんか？	新しい定着器ユニットと交換してください。	75 ページ
	ベルトユニットが寿命になっていませんか？	新しいベルトユニットと交換してください。	77 ページ
	本体のカバーがオープンされていませんか？	全てのカバーを閉じてください。	セットアップ編 「各部の名称とはたらき」
	エラーが発生していませんか？	発生しているエラーを解除してください。	17 ページ
	他の動作中ではありませんか？	他の動作が終わったら、コピーを開始してください。	—
	コンピューター等からの印刷中ではありませんか？	印刷が完了するのを待つか、<プリント中割込み>キーを押下してください。	便利な機能 / 本体の設定編「印刷中に割り込んでコピーする（プリント中割込み）」
	FAX がリアルタイム送信中ではありませんか？	FAX の送信が終わるまでお待ちください。	—
	継続読取が ON になっていませんか？	タッチパネルの「読取り終了」を押下してください。	—
	オフライン状態ではありませんか？	<プリンタ>キーを押したあとに、プリンター待機画面の［オフライン］ボタンを押し、オンライン状態にしてください。	セットアップ編 「各機能の画面の見かた」
	アクセス制御されていませんか？	コピーの権限がある PIN あるいはユーザー名 / パスワードで認証を行ってください。	便利な機能 / 本体の設定編「ユーザ認証・アクセス制御について」

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
ミックスコピーできない	「ミックス原稿」設定が OFF になっていませんか？	「ミックス原稿」設定を ON にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「サイズが異なる原稿をコピーする（ミックス原稿）」
	ミックスコピー対象外の原稿サイズではありませんか？	ミックス対象の原稿に変更してください。	セットアップ編「サイズが異なる原稿をセットする（ミックス原稿）」
	ミックスコピーに必要なサイズの用紙が、全てセットされていますか？	ミックス対象の全てのサイズの用紙を、コピー用の印刷トレイ指定にて ON あるいは ON（優先）が設定されているトレイにセットしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「サイズが異なる原稿をコピーする（ミックス原稿）」
ソートコピーできない	「ソート」設定が OFF になっていませんか？	「ソート」設定を ON にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「出力を並べ替える（ソート）」
	メモリーがいっぱいではありませんか？	オプションの増設メモリーを追加するか、原稿の枚数を減らしてください。	セットアップ編「増設メモリー（オプション）を取り付ける」
<プリント中割込み>キーを押しても割り込みできない	コピー待機画面を表示していますか？	<コピー>キーを押し、コピー待機画面にしてください。	セットアップ編「機能を切り替える」
	エラーが発生していませんか？	エラーを解除してください。	17 ページ
	受信ファクスの印刷待ちになっていませんか？	受信ファクスの印刷が終わるまでお待ちください。	—
	PC-FAX 送信中または送信待ちではありませんか？	PC-FAX 送信が終わるまでお待ちください。	—
	スキャンしたデータを送信中または書き込み中ではありませんか？	しばらくお待ちください。	—
	自動配信中または、通信データ保存中ではありませんか？	しばらくお待ちください。	—
	停止できない処理中ではありませんか？	しばらくお待ちください。	—

原稿とコピー結果が異なる

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
原稿とコピー結果が異なる	「両面」が設定されていませんか？	「両面」の設定を OFF にしてください。	基本操作編「両面にコピーする（両面）」
	「ミックス原稿」が設定されていませんか？	「ミックス原稿」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「サイズが異なる原稿をコピーする（ミックス原稿）」
	用紙が横にセットされていませんか？	横にセットされている用紙を取り除いてください。または、<機器設定>キーを押し、[用紙] - [印刷トレイ指定] で、用紙が縦にセットされているトレイを［ON（優先）］に変更してください。	セットアップ編「、記号について」
コピー結果のサイズが変わる	原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？	適したサイズの用紙をセットしてください。	セットアップ編「用紙種類ごとに選択できる給紙方法と排出方法」
	「拡大 / 縮小」の倍率が正しく設定されていますか？	「拡大 / 縮小」を適した倍率に設定してください。	基本操作編「拡大 / 縮小してコピーする(拡大 / 縮小)」
	「リピート」が設定されていませんか？	「リピート」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート)」
	「ページ分割」が設定されていませんか？	「ページ分割」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割)」
コピー結果の一部が欠ける	「枠消去」が設定されていませんか？	「枠消去」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「周囲の影を消す（枠消去)」
	「センター消去」が設定されていませんか？	「センター消去」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「中央の影を消す（センター消去)」
	「とじしろ」が設定されていませんか？	「とじしろ」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「とじしろを設定する（とじしろ)」
	「集約」が設定されていませんか？	「集約」の設定を OFF にしてください。	便利な機能 / 本体の設定編「1 枚の用紙に複数のページをコピーする（集約)」

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

コピー開始後の問題

発生状況	チェック項目	処　置	参照ページ
印刷開始が遅い	温度調整中ではありませんか？	パネルのガイド部に " 温度調整中です " あるいは " プリンタ準備中です " と表示されている場合には、印刷の準備をしていますので、そのまま印刷を開始するまでお待ちください。	―
コピーがキャンセルされる	エラーが発生していませんか？	コピー動作中に特定のエラーが発生しますと、コピージョブはキャンセルされます。 エラー要因を除去し、エラーが発生しないようにしてから、再度コピーを開始してください。	17 ページ
	MP トレイに用紙はありますか？	MP トレイの用紙にコピーする場合には、MP トレイに充分な用紙がセットされていることを確認してから、コピーを開始してください。 また、<機器設定>キーを押し、［用紙］-［印刷トレイ指定］-［コピー］-［MP トレイ］の設定が、［ON］または［ON（優先）］になっていることを確認してください。	セットアップ編「MP トレイ（マルチパーパストレイ）に用紙をセットする」

ファクスに関するトラブル

送信できない

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
送信できない	送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作をしてください。	基本操作編 「ファクスを送信する」
	相手先の電話番号は正しいですか？	短縮ダイヤルで指定しているときは、正しく登録されているか、リストを印字して確認してください。	便利な機能 / 本体の設定編 「短縮ダイヤルリスト」
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線に合った種類に設定してください。	基本操作編 「ダイヤル種別を設定する」
	相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするよう依頼してください。（電源、記録紙など）	—
原稿が連続して送信されない	原稿の先端を揃えてセットしていますか？	原稿をセットし直してください。	セットアップ編 「原稿をセットする」
	セットした原稿の中に、最小幅（128.5mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか？	最小幅より狭い幅の原稿は、ガラス面にセットして、他の原稿とは別にしてください。	セットアップ編 「セットできる原稿サイズ」
ダイヤルしても送信できない	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線に合った種類に設定してください。	基本操作編 「ダイヤル種別を設定する」
	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	セットアップ編 「原稿をセットする」
	電話番号が間違っていませんか？	正しい電話番号をダイヤルしてください。	—
	相手が話し中ではありませんか？	相手の通信が終了するまでお待ちください。	—
手動送信できない	受話器を置いた後で<スタート>キーを押していませんか？	受話器を置く前に<スタート>キーを押してください。	基本操作編 「手動で送信する」
メモリー送信のとき原稿が読み込まれない	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	セットアップ編 「原稿をセットする」
	メモリーがいっぱいではありませんか？	メモリー容量を確認してください。	—

受信できない

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
受信できない	自動受信モードになっていますか？	受信モードを確認してください。	基本操作編「ファクスの受信モードを設定する」
	用紙はありますか？	用紙を補給してください。	セットアップ編「用紙のセットのしかた」
	用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	7 ページ
	回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	セットアップ編「電話線に接続する」
	メモリーがいっぱいではありませんか？	メモリー容量を確認してください。	—
手動受信できない	受話器を置いた後で<スタート>キーを押していませんか？	受話器を置く前に<スタート>キーを押してください。	基本操作編「受信のしかた」
ポーリング受信ができずにエラーメッセージがプリントされる	相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	—

送受信できない

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
送受信できない	ブロードバンド環境を利用した IP 電話に接続していますか？	[設置モード] の [スーパー G3] の設定を OFF にしてください。	基本操作編「ファクスを送信するための準備（設置モード)」

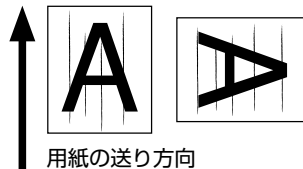
最適なサイズの用紙に印刷しない

発生状況	チェック項目	処　置	参照ページ
受信したファクスを最適サイズの用紙に印刷しない	トレイの用紙種類の設定が［普通紙］または［再生紙］以外になっていませんか？	使用するトレイの用紙種類を［普通紙］または［再生紙］に設定してください。ファクスは、普通紙または再生紙のみに印刷します。また、用紙サイズよりも用紙種類を優先します。	セットアップ編「用紙種類ごとに選択できる給紙方法と排出方法」

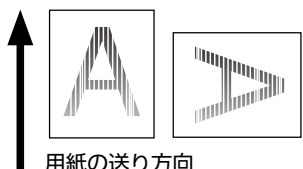
スキャンに関するトラブル

発生状況	チェック項目	処　置	参照ページ
スキャンできない	電源が OFF になっていませんか？	電源を ON にしてください。	セットアップ編「電源を入れる」
	ケーブルが外れていませんか？	ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	セットアップ編「ケーブルを接続する」
	ケーブルが破損していませんか？	ケーブルを交換してください。	セットアップ編「ケーブルを接続する」
	ネットワーク設定が間違っていませんか？	ネットワーク設定を正しく行ってください。	基本操作編「ネットワーク経由でセットアップする(Windows)」、「ネットワーク経由でセットアップする(Mac OS X)」
	エラーが発生していませんか？	スキャナー画面上に表示されているメッセージに従って処置してください。	20 ページ 33 ページ
電子メールの送受信ができない	本装置の電源を入れてから、イーサネットケーブルを接続しましたか？	本装置の電源を切り、イーサネットケーブルを差し込んでから電源を入れてください。	セットアップ編「電源を入れる / 切る」
	本装置の E メールアドレスが設定されていますか？	E メールアドレスを設定してください。	基本操作編「E メールアドレスやメールサーバーを設定する」
	E メールアドレスが間違っていませんか？	正しいメールアドレスを入力してください。	基本操作編「E メールアドレスやメールサーバーを設定する」
	SMTP サーバーのアドレスが間違っていませんか？	SMTP サーバーの設定を確認してください。	基本操作編「E メールアドレスやメールサーバーを設定する」
	POP3 サーバーのアドレスが間違っていませんか？	POP3 サーバーの設定を確認してください。	基本操作編「E メールアドレスやメールサーバを設定する」
	DNS サーバーのアドレスが間違っていませんか？	ネットワーク設定を確認してください。	基本操作編「E メールアドレスやメールサーバーを設定する」
	他の動作中ではありませんか？	他の動作が終了するまで、お待ちください。	—
	エラーが発生していませんか？	スキャナー画面上に表示されているメッセージに従って処置してください。	20 ページ 基本操作編「設定の途中でエラーになったとき」
ネットワークフォルダーにファイルが保存できない	FTP/CIFS の設定が間違っていませんか？	プロファイルの設定を確認してください。	基本操作編「プロファイルを作成する」
	エラーが発生していませんか？	スキャナー画面上に表示されているメッセージに従って処置してください。	20 ページ 基本操作編「設定の途中でエラーになったとき」

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。

用紙の送り方向

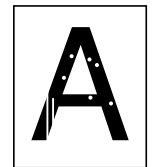
原因		対処
LED ヘッドが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
異物がつまっています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
イメージドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
イメージドラムカートリッジが正しくセットされていません。	☞	イメージドラムカートリッジを正しくセットしてください。
自動原稿送り装置の原稿ガラスが汚れています。	☞	自動原稿送り装置の原稿ガラスを清掃してください。

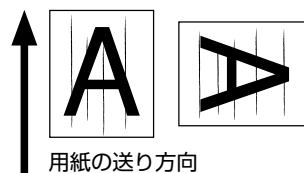
縦方向にかすれる。

用紙の送り方向

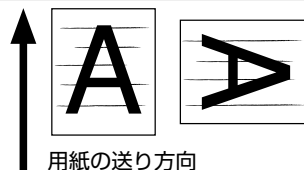
原因		対処
LED ヘッドが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。

原因		対処
トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞	トナーカートリッジを取り付け直してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
用紙が湿気を含んでいます。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
用紙が適していません。用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	<機器設定>キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙種類]、[用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞	<機器設定>キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。
濃度の設定が正しくありません。	☞	正しく設定してください。
原稿に黄色や緑色などが使われています。	☞	受信の場合は、相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。(コピーをとられることをおすすめします)

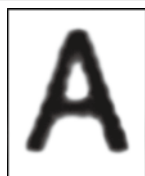
部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。

原因		対処
用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
[普通紙ブラック設定] または [普通紙カラー設定] の設定が不適切です。	☞	<機器設定>キーを押し、[管理者設定] - [プリンタ機能] - [印刷メニュー] - [印刷補正] - [普通紙ブラック設定] または [普通紙カラー設定] の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。

原因		対処
イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
自動原稿送り装置の原稿ガラス、原稿搬送ローラーなどが汚れています。	☞	原稿ガラス、原稿搬送ローラーを清掃してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。

原因		対処
約 94mm 周期の場合は、イメージドラムの緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
約 40mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
約 87mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞	定着器ユニットを交換してください。
イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞	イメージドラムカートリッジを本体の内部に戻し、数時間装置を使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
用紙搬送路に汚れが付着しています。	☞	数枚テストコピーをしてください。

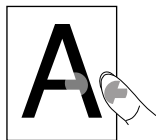
白地の部分が薄く汚れる。

原因		対処
用紙が静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
厚い用紙を使用しています。	☞	より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。

原因		対処
LED ヘッドが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
用紙が湿気を含んでいます。	☞	新しい用紙と交換してください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。

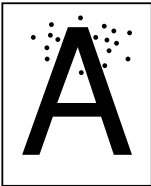
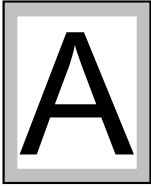
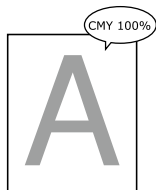
原因		対処
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	故障ではありません。
コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	コート紙はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。

	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙種類]、[用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。
	再生紙を使用しています。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。

光沢にムラが出る。

	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙種類]、[用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。

思った色合いで印刷されない。

	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
	[黒の生成] の設定がアプリケーションに合っていません。	☞ プリンタードライバーの [黒の生成] で [CMYK トナーで生成] または [黒トナーのみで生成]、[CMY100% 濃度] が [無効] を選択してみてください。詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「黒の仕上がりを変更する」をご覧ください。
	カラー調整を変更しています。	☞ プリンタードライバーのカラーマッチングにしてください。詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー)」をご覧ください。
	カラーバランスがとれていません。	☞ 操作パネルで濃度補正を実行してください。
	色ずれが起こっています。	☞ トップカバーを開閉してください。または、操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「色ずれを手動で補正する」、「色ずれ補正を微調整する」をご覧ください。

CMY 各色 100%のベタが薄い。

	[CMY100% 濃度] の設定が [無効] になっています。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、[管理者設定] - [プリンタ機能] - [カラーメニュー] - [CMY100 濃度] を [有効] にしてください。

黒点や白点が現れる。			
	用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
	約 94mm 周期の場合は、イメージドラムの緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	ガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	☞	ガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。
汚れが印刷される。			
	用紙が湿気を含んでいます。	☞	新しい用紙と交換してください。
	用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
	ガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	☞	ガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。
用紙全体が黒く印刷される。			
	機器の故障が考えられます。	☞	お客様相談センターまでご連絡ください。
何も印刷されない。			
	一度に複数枚の用紙が搬送されました。	☞	用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	機器の故障が考えられます。	☞	お客様相談センターまでご連絡ください。
	原稿を裏表逆にセットしています。	☞	正しく原稿をセットしてください。
白抜けがおこる。			
	用紙が湿気を含んでいます。	☞	新しい用紙と交換してください。
	用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
	ガラス面が汚れています。	☞	ガラス面を清掃してください。
全体が汚れる。			
	ガラス面が汚れています。	☞	ガラス面を清掃してください。
	両面が印刷されている原稿の裏面が写っています。	☞	薄い紙の両面原稿ですと、裏面の原稿内容が透けて、表の原稿に写ってしまうことがあります。濃度を薄くしてください。
周りが汚れる。			
	原稿押さえローラー、原稿押さえパッドが汚れています。	☞	原稿押さえローラー、原稿押さえパッドを清掃してください。
	原稿サイズより大きな用紙にコピーしています。(倍率 100%時)	☞	原稿サイズと同じ大きさの用紙を選択します。
	原稿と用紙の向きが違っています。	☞	同じ向きの用紙を選択します。または、原稿の向きを用紙に合わせてセットします。
	用紙サイズに合った倍率で縮小していません。	☞	用紙サイズにあった倍率で縮小してください。

画像が傾く。			
	原稿が正しくセットされていません。	☞	原稿を正しくセットしてください。
	自動原稿送り装置に適した原稿がセットされていません。	☞	自動原稿送り装置部にセット可能な原稿を使用してください。
	自動原稿送り装置部の原稿ガラスに異物があります。	☞	自動原稿送り装置部の原稿ガラスを清掃してください。

原稿送り・用紙送りがおかしいとき

原稿が出てこない。		
原稿が詰まっています。	☞	詰まった原稿を取り出し、セットし直してください。

原稿がよくつまる。		
原稿が適切ではありません。	☞	適切な原稿を使用してください。
原稿ガイドの位置がずれています。	☞	原稿ガイドを原稿に沿わせてセットしてください。
自動原稿送り装置に紙片が残っています。	☞	原稿カバーを開けて確認してください。
原稿搬送ローラーが汚れています。	☞	原稿搬送ローラーを清掃してください。

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。		
装置が傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞	装置に適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞	装置に適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞	一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。MP トレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を 1 枚だけセットしています。	☞	用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、MP トレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞	用紙カセットの用紙ストッパーと用紙ガイドを用紙に合わせてください。MP トレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞	正しくセットしてください。
用紙厚が 176 ～ 200g/m^2（連量 151 ～ 172kg）の用紙、はがき、封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットしています。	☞	用紙厚が 176 ～ 200g/m^2（連量 151 ～ 172kg）の用紙、はがき、封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。MP トレイにセットし、フェイスアップスタッカーへ排出してください。詳しくはセットアップ編「用紙の排出」をご覧ください。

用紙が送られない。		
プリンタードライバーの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタードライバーで手差しの指定をしています。	☞	MP トレイに用紙をセットして、操作パネルの［印刷再開］を押してください。またはプリンタードライバーの「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。		
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞	トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。		
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 また、Web ブラウザー上より、高湿モード設定を自動あるいは手動に切り替えてください。 詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」の［高湿モード］メニューをご覧ください。
薄い用紙を使用しています。	☞	＜機器設定＞キーを押し、［用紙］-［トレイ名］画面で、［用紙厚］を現在の設定より薄い値にしてください。

定着器ユニットのローラーへ用紙が巻きつく。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	＜機器設定＞キーを押し、［用紙］-［トレイ名］画面で、［用紙種類］、［用紙厚］を適切な値にしてください。または、［用紙厚］を現在の設定より厚い値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞	より厚手の用紙を使用してください。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞	用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

本機のトラブル

電源を ON にしても「オンライン」にならない。		
電源コードが抜けています。	☞	電源を OFF にしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

動作しない。		
電源コードはしっかりと差し込んでありますか？	☞	電源スイッチ及び電源プラグを確認してください。
電源スイッチは ON になっていますか？	☞	電源スイッチを ON にしてください。

印刷処理を開始しない。		
エラーが表示されています。	☞	操作パネルにエラーが表示されている場合は「メッセージが表示されたとき」（P.20）をご覧ください。
プリンターケーブルが外れています。	☞	プリンターケーブルを差し込んでください。
プリンターケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンターケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンターケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
印刷機能に問題がある可能性があります。	☞	［レポート印刷］キーを押し、機器設定印刷ができるか確認してください。
インターフェースが無効になっています。	☞	<機器設定>キーを押し、［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［ネットワーク設定］で、使用しているインターフェースを［有効］にしてください。
プリンタードライバーが選択されていません。	☞	プリンタードライバーを［通常使うプリンタ］に設定してください。
プリンタードライバーの出力ポートが間違っています。	☞	プリンターケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

ディスプレーに何も表示しない。		
節電キーのランプが点灯しています。	☞	節電モードになっています。節電モードを解除してください。
ディスプレーの液晶調整ボリュームの位置がずれています。	☞	ディスプレーを見ながら、液晶調整ボリュームを調整してください。

印刷処理が中断する。		
プリンターケーブルが断線しています。	☞	プリンターケーブルを取り替えてください。
コンピューターのタイムアウトにかかっています。	☞	タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。		
装置が傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
装置内部に用紙くずや異物があります。	☞	装置内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞	トップカバーの左右を押して閉じてください。

共振音がする。		
装置内部の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などに印刷をしています。	☞	装置の故障ではありません。そのままお使いください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。		
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞	<機器設定>キーを押し、[管理者設定] - [機器管理] - [節電モード] - [パワーセーブ] を [OFF] にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞	しばらくお待ちください。
他のインターフェースからのデータを処理しています。	☞	印刷処理が中断するまでお待ちください。

[濃度] の設定を変えても印刷結果が変わらない。		
[赤・緑・青色調整] の設定を変更しました。	☞	[濃度] の設定は、[赤・緑・青色調整] の設定と関係があり、適切な範囲内で変化するようになっています。

印刷の途中で印刷が止まる。		
連続印刷などで定着器の温度が上昇したため、間欠印刷※により温度を調整しています。	☞	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。
長時間の連続印刷などで装置の内部温度が上昇したため、間欠印刷や印刷一時停止により温度調整をしています。	☞	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

※ 間欠印刷とは、一定の間隔をおいて印刷することです。

時計データなどの登録内容が消えてしまう。		
長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用しています。	☞	登録内容を保持しているバッテリーの寿命がきたことが考えられます。お客様相談センターまでご連絡ください。

メモリーに蓄積した画像データが消えてしまう。		
電源を切ってから 72 時間以上経過しました。	☞	画像データ画像データ n バックアップ時間は、約 72 時間です。

メモリー不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピューター側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピューターを使用してください。
[印刷オプション] の [高精細] を選択しています。	☞	PCL プリンタードライバーでは [詳細設定]、PS プリンタードライバーでは [印刷オプション] で [きれい] または [ふつう] を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。

プリンタードライバーの表示がおかしい。(Macintosh)		
プリンタードライバーが正しく動作していない可能性があります。	☞	プリンタードライバーを一旦削除した後、再インストールを行ってください。

停電のとき

本機の動作

■停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリー送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。

■停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクス受信	受信できません。

! 注

- UPS（無停電電源）やインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターは使用しないでください。

画像の保持について（メモリーバックアップ）

メモリーに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも、次のような条件で保持されます。

- メモリーに蓄積された画像データは、下記の時間保持されます。ただし、あらかじめ 48 時間連続して通電されている必要があります。
- 画像データのバックアップ時間は、約 72 時間です。

消去された画像の通知（消去通知）

メモリーに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。

下記は、消去通知例です。

＊＊消去通知＊＊

P1　2007年11月26日(月) 15:04

以下の原稿が消去されました

原稿種別:通信予約コマンド

原稿種別:Fコードボックス原稿
BOX　:03
ボックス名:ABCD
相手先名　:aaa
種別　:掲示板

原稿種別:代行受信原稿
相手先名:fghi
開始日時:11/26 15:00
枚数　:1
通信種類:ポーリング受信

1. 原稿種別
   通信予約コマンド /F コードボックス原稿 / 代行受信原稿のいずれかを表します。
2. BOX
   F コードボックス原稿の場合、F コードボックス番号を表します。
3. ボックス名
   F コードボックス原稿の場合、F コードボックス名を表します。
4. 相手先名
   相手先を表します。
5. 種別
   F コードボックス原稿の場合、親展 / 掲示板のいずれかを表します。
6. 開始日時
   通信開始の日時を表します。
7. 枚数
   受信した枚数を表します。
8. 通信種類
   通常の受信の場合は、空欄で、以下の場合は受信の種別が記載されます。
   手動受信 / ポーリング受信 /F コードポーリング受信 /F コード親展受信 /F コード掲示板受信

2 メンテナンス

「メンテナンス品 5 年間無償提供」について

ご購入日から起算して 5 年以内にメンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラーセット）が規定の交換寿命を迎えた場合、交換品を無償で提供するサービスです。

交換品は、お使いのメンテナンスユニットの寿命を確認したうえで送付させていただき、交換作業についてはお客様で行なっていただきます。

本サービスの利用については、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポート」を必ずご確認してください。

また、申込方法は、沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

消耗品・メンテナンスユニットを交換する

トナーカートリッジの交換

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

- トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーが飛び散らないよう、濡れた雑巾で丁寧に拭き取ってください。

トナーカートリッジ交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［＊　トナーを交換してください］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーがなくなりました］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。

お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジ交換の目安は以下の通りです。

- 標準トナーカートリッジの場合：
  MC862：約 7,000 枚、MC852：約 4,000 枚
- 大容量トナーカートリッジの場合：
  K：約 9,500 枚、CMY：約 10,000 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：
  約 2,700 枚

メモ

- トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。「ISO/IEC 19798」は、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1 本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

- 標準トナーカートリッジの場合：
  MC862：約 5,500 枚、MC852：約 2,500 枚
- 大容量トナーカートリッジの場合：
  K：約 8,000 枚、CMY：約 8,500 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：
  約 1,200 枚

→
メモ

- ［トナーを交換してください］を表示してから［トナーがなくなりました］になるまでの目安は、約 250 枚です。

注

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約 2,300 枚印刷可能です。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーがなくなりました］と表示した後も、トップカバーを開閉することにより、A4 サイズ、ISO パターンで約 100 枚（約 20 枚を 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。イメージドラムの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

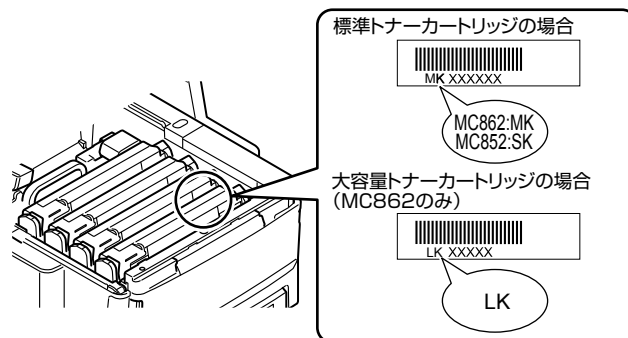
- 機種により使用できるトナーカートリッジが異なります。 トナーカートリッジをお求めの前に、下の表で確認してください。

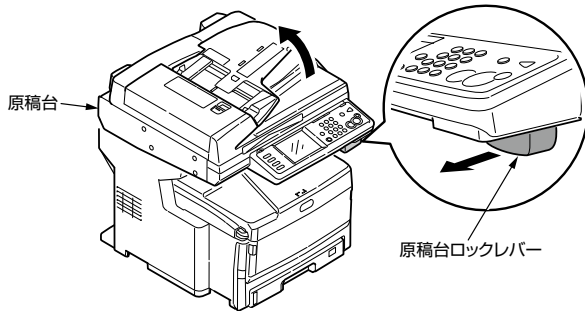
品　名	型　名	内容
トナーカートリッジ ブラック	TNR-C3MK1	トナーカートリッジ MC852 専用（MC862 では使用できません）
トナーカートリッジ イエロー	TNR-C3MY1	
トナーカートリッジ マゼンタ	TNR-C3MM1	
トナーカートリッジ シアン	TNR-C3MC1	
トナーカートリッジ ブラック	TNR-C3PK1	トナーカートリッジ MC862 専用（MC852 では使用できません）
トナーカートリッジ イエロー	TNR-C3PY1	
トナーカートリッジ マゼンタ	TNR-C3PM1	
トナーカートリッジ シアン	TNR-C3PC1	
大容量トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3PK2	トナーカートリッジ 大容量タイプ MC862 専用（MC852 では使用できません）
大容量トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3PY2	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3PM2	
大容量トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3PC2	

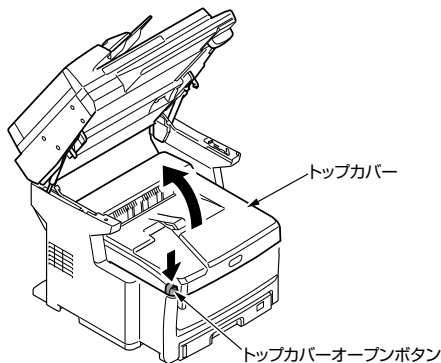
※お近くの販売店でお求めください。

メモ

- トナーカートリッジの種別は、バーコード下の英数字の上 2 桁で見分けます。

トナーカートリッジの種別	消耗品		イメージドラムに添付のトナーカートリッジ	スタータートナーカートリッジ
	標準	大容量タイプ		
上 2 桁の英数字	MC862:MK MC852:SK	LK	2K	2S

トナーカートリッジを交換する

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 トップカバーオープンボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

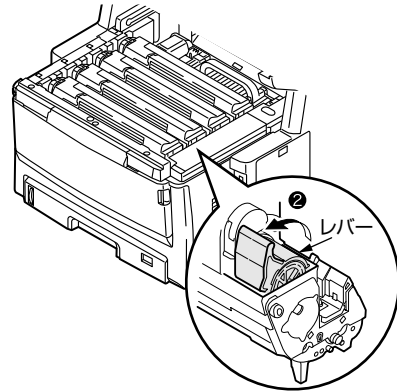
⚠注意	やけどのおそれがあります。	
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		

3 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

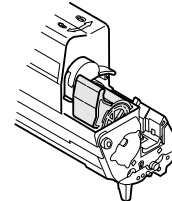
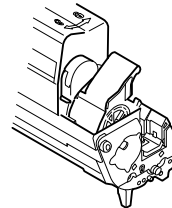
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

メモ

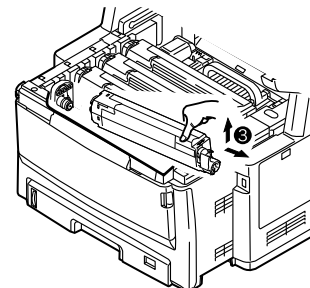
- 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは、製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

(1) 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

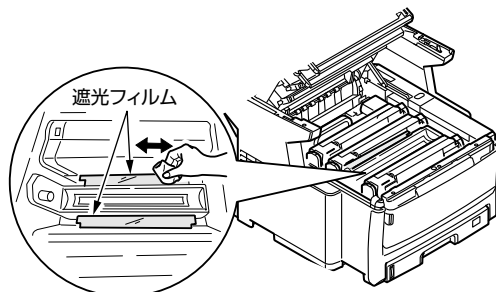
(2) トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

トナーカートリッジのレバー位置は次のとおりです。

- トナーカートリッジを外す位置

- トナーカートリッジを取り付けた状態

(3) トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

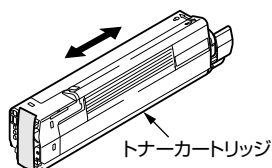
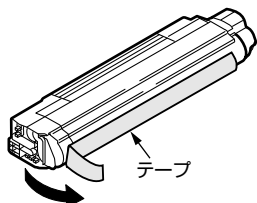
注

- トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。

(4) トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

注

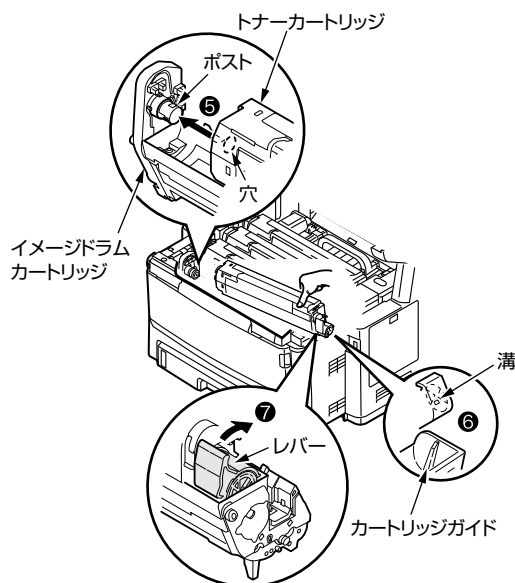
- トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

(1) 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出し、色に間違いがないことを確認します。

(2) 縦と横に数回振ります。

(3) トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

(4) トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

(5) テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

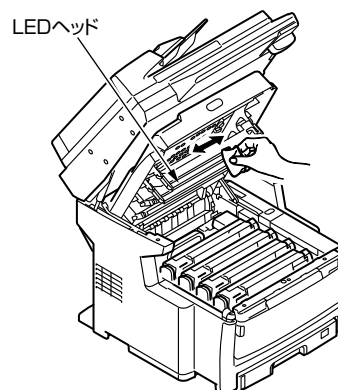
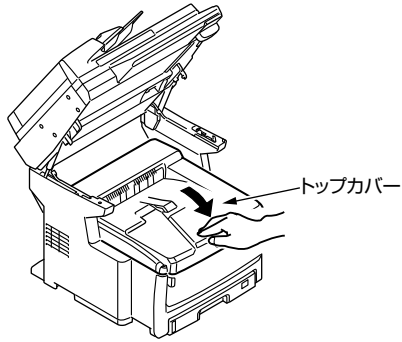
(6) トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

(7) トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

注

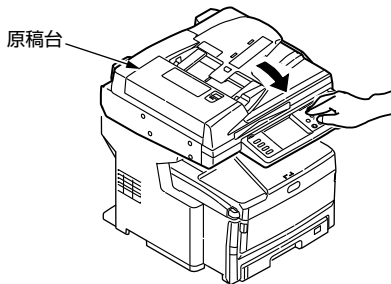
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

5 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注

- メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

6 トップカバーを閉じます。

メモ

- トナーカートリッジを交換しても、［トナーを交換してください］のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

7 原稿台を元の位置に戻します。

メモ

- 使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。
- やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

イメージドラムカートリッジの交換

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

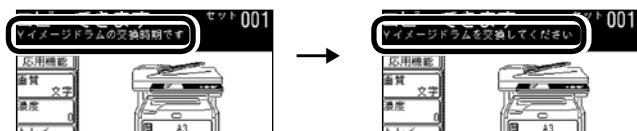
- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

● トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーが飛び散らないよう、濡れた雑巾で丁寧に拭き取ってください。

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［＊　イメージドラムの交換時期です］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［イメージドラムを交換してください］を表示して印刷を停止します。

イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約 20,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に 3 枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約 27,000 枚に相当します。）

→

メモ

- ［イメージドラムの交換時期です］を表示してから［イメージドラムを交換してください］になるまでの目安は、約 500 枚です。（A4 サイズ、横送り、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）
- トナーがほとんど無くなっている場合には、トップカバーを開閉しての印刷継続は制限されます。

注

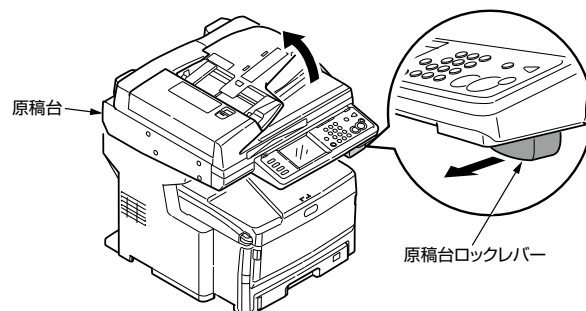
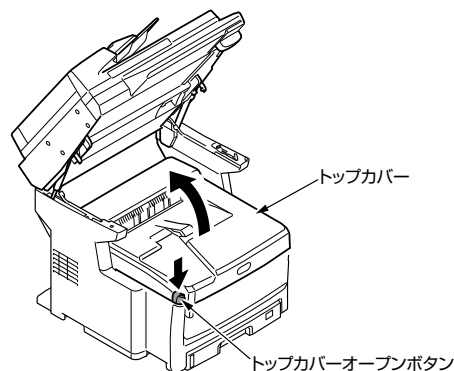
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- ［イメージドラムを交換してください］表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- ［イメージドラムを交換してください］を表示以降にトナーがほとんど無くなった場合には、500 枚以下で［イメージドラムを交換してください］となります。また、お使いの環境によっては、［イメージドラムを交換してください］が表示される前に印刷が薄くなることもあります。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。
- 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」が無効に設定されている場合は、［イメージドラムの交換時期です］メッセージは表示されません。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

品　名	型　名
イメージドラム　ブラック	ID-C3MK
イメージドラム　イエロー	ID-C3MY
イメージドラム　マゼンタ	ID-C3MM
イメージドラム　シアン	ID-C3MC

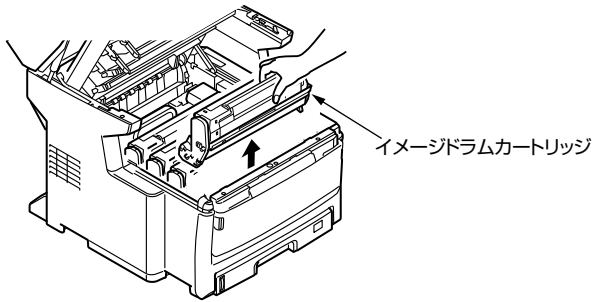
お近くの販売店でお求めください。

イメージドラムカートリッジを交換する

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		

3 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

(1) 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

(2) トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ

- 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは製品の保証･メンテナンス品の無償提供･お客様サポートについて「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

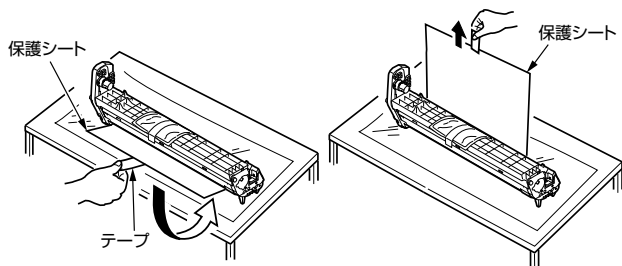
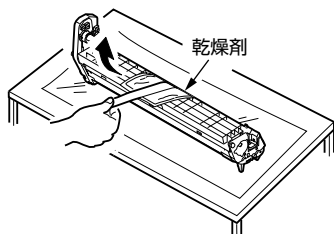
⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

注

- イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- イメージドラムカートリッジの緑色の筒の部分は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

(1) イメージドラムを新聞紙等の上に置きます。

(2) 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

(3) 乾燥剤を取り外します。

5 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

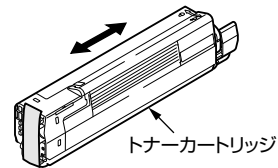
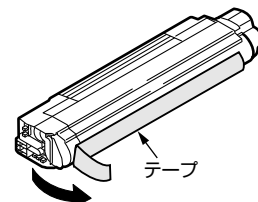
注

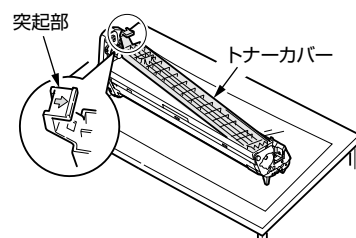
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。
  - 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後 1 年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
  - 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーがなくなりました」のメッセージが表示される場合があります。
  - 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーを交換してください」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

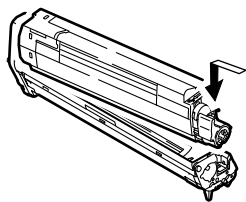
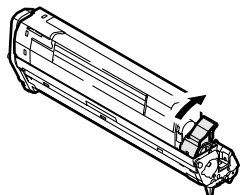
(1) 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

注

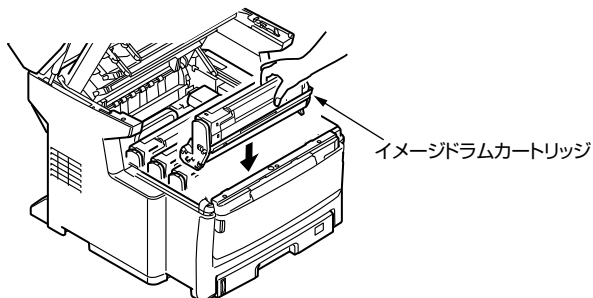
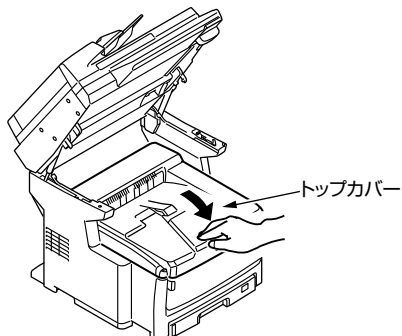
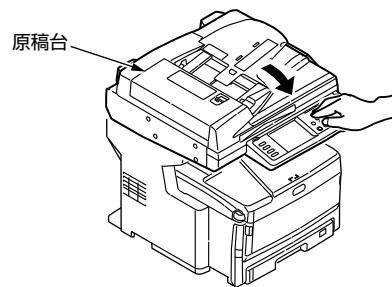
- 新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

(2) 縦と横に数回振ります。

(3) トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

(4) トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

(5) イメージドラムカートリッジのトナーカバーを取り外します。

(6) テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

(7) トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

(8) トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

6 イメージドラムカートリッジをセットします。

(1) イメージドラムカートリッジのラベルの色と装置側のラベルの色が合っていることを確認します。

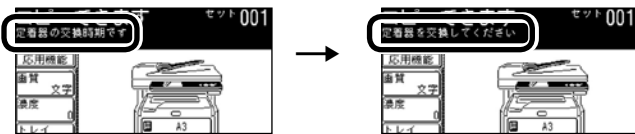
(2) イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

7 トップカバーを閉じます。

8 原稿台を元の位置に戻します。

メモ

- 使用済みのイメージドラムカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。
- やむを得ず、使用済みイメージドラムカートリッジを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

定着器ユニットの交換

定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに［定着器の交換時期です］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに［定着器を交換してください］のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。

定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 100,000 枚です。

メモ

- ［定着器の交換時期です］を表示してから［定着器を交換してください］になるまでの目安は、A4 サイズ（片面印刷）で約 1,250 枚です。

注

- 「定着器を交換してください」と表示した後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、装置の故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。
- 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」が無効に設定されている場合は、［定着器を交換してください］メッセージは表示されません。

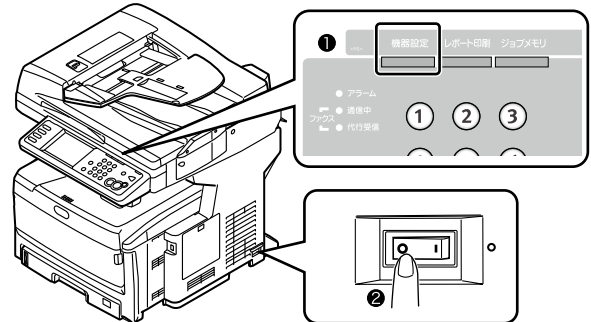
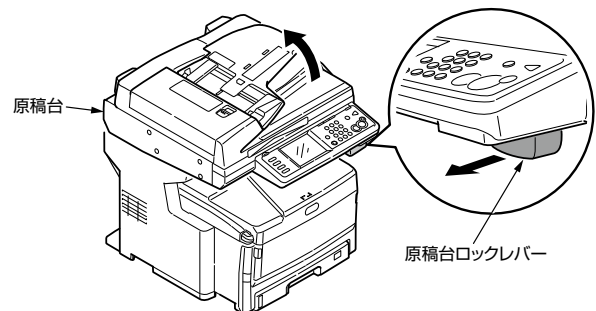
定着器ユニットを交換する

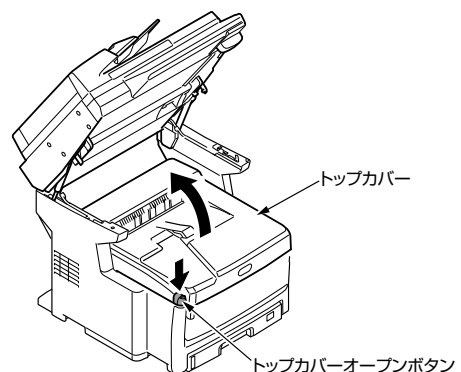
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、［シャットダウン］を押してから、電源スイッチを OFF にします。

注

- いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

参照

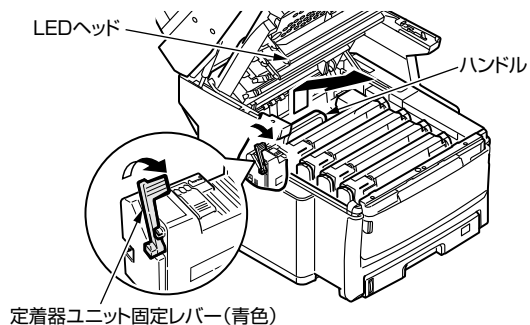
- 詳しい手順はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

2 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。	

4 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。		

(1) 定着器ユニット固定レバー(青色)を矢印の方向へ起します。

(2) 定着器ユニットのハンドルを持ち、斜め前方へ取り出します。

注

- LED ヘッドに当たらないように注意してください。

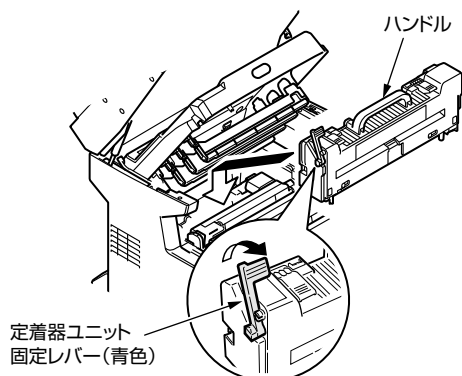
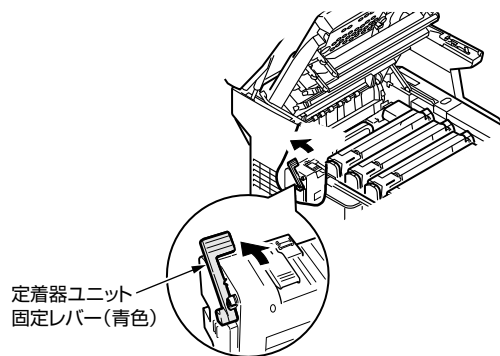
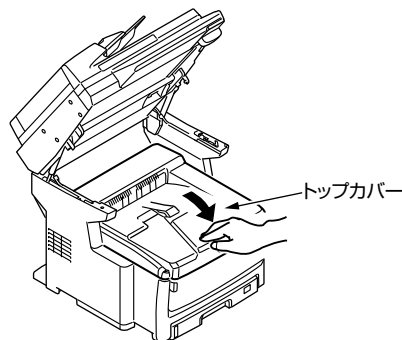
メモ

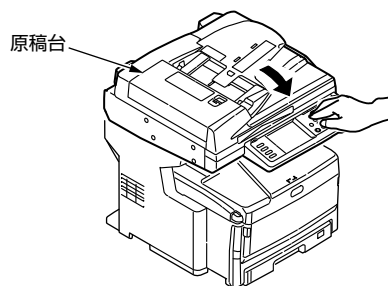
- 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、製品の保証･メンテナンス品の無償提供･お客様サポートについて「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

5 新しい定着器ユニットをセットします。

(1) 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

(2) 定着器ユニットの固定レバーを矢印の方向に起こします。

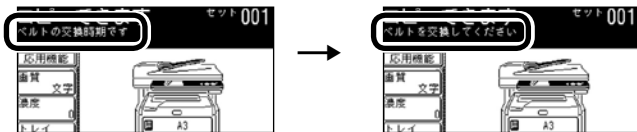
(3) 定着器ユニットのハンドルを持ち、静かに入れます。

(4) 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

6 トップカバーを閉じます。

7 原稿台を元の位置に戻します。

メモ

- 使用済みの定着器ユニットの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。
- やむを得ず、使用済み定着器ユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

ベルトユニットの交換

ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに［ベルトの交換時期です］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［ベルトを交換してください］を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。

ベルトユニット交換の目安は、A4 横サイズの用紙（片面印刷時）で約 80,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に 3 枚ずつ）の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

メモ

- ［ベルトの交換時期です］を表示してから［ベルトを交換してください］になるまでの目安は、約 1,000 枚です。（A4 横サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）

注

- 「ベルトを交換してください」と表示した後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、装置の故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。
- 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」が無効に設定されている場合は、［ベルトを交換してください］メッセージは表示されません。

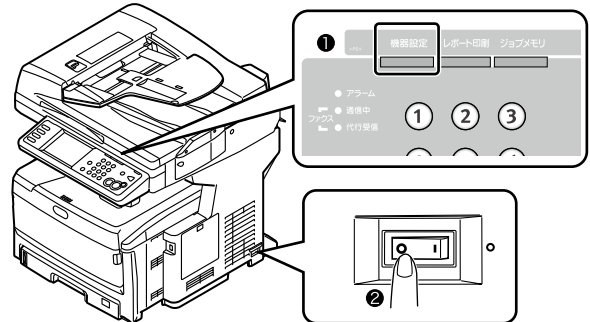
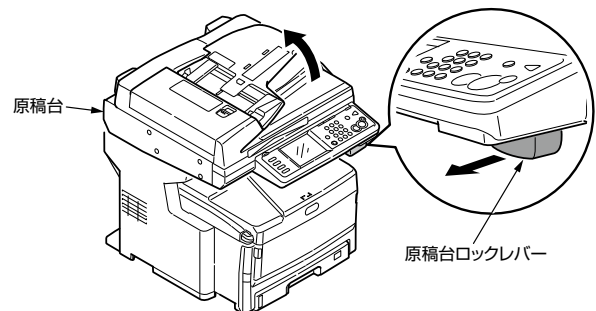
ベルトユニットを交換する

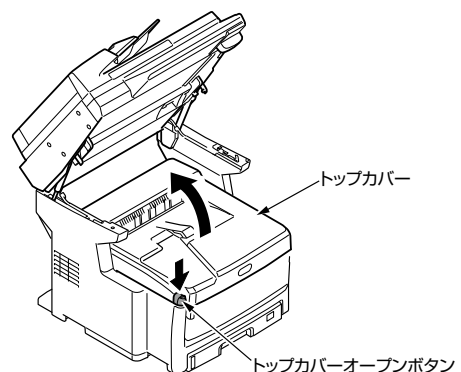
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、［シャットダウン］を押してから、電源スイッチを OFF にします。

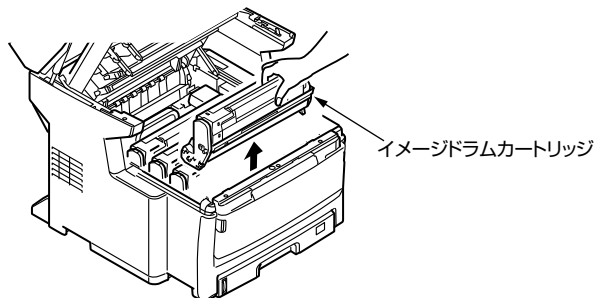
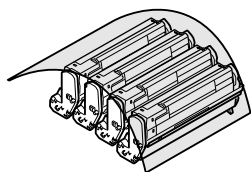
注

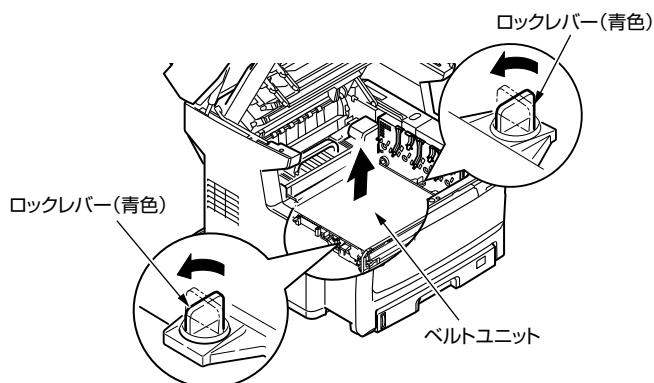
- いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

参照

- 詳しい手順はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

2 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。	

4 使用済みのベルトユニットを取り出します。

(1) イメージドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

(2) 取り出したイメージドラムカートリッジに光があたらないよう、紙をかぶせます。

(3) ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、レバー(青色)を持ち、ベルトユニットを取り外します。

メモ

- 使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、製品の保証･メンテナンス品の無償提供･お客様サポートについて「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

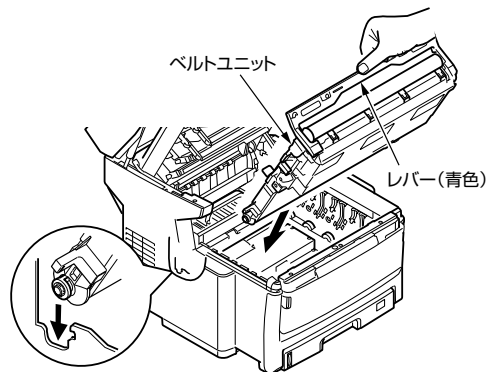
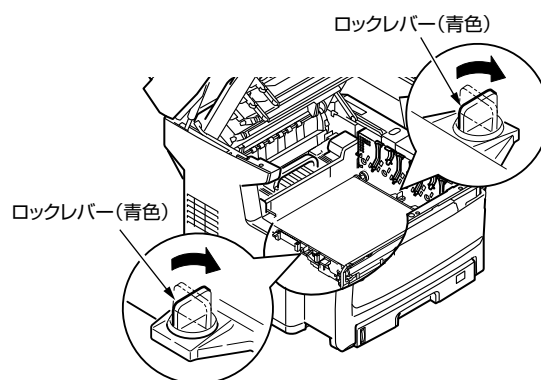
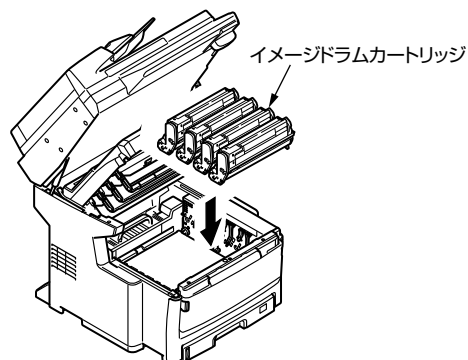
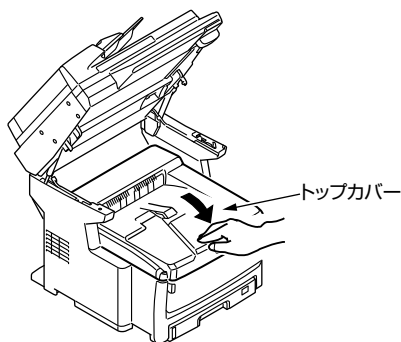
注

- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

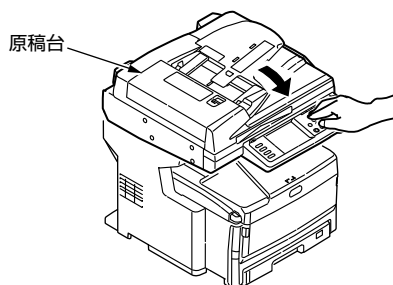
5 新しいベルトユニットをセットします。

(1) 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

(2) ベルトユニットのレバー(青色)を持ち、ベルトユニットをセットします。

(3) ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

(4) イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かに戻します。

6 トップカバーを閉じます。

注

- イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

7 原稿台を元の位置に位置に戻します。

メモ

- 使用済みのベルトユニットの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。
- やむを得ず、使用済みベルトユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

給紙ローラーとパッドの交換

給紙ローラーとパッドを清掃しても給紙ミスが頻発する場合、給紙ローラーとパッドを交換します。

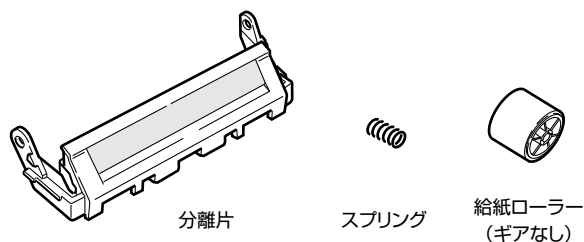
トレイ 1 では、給紙ローラー 1 ヶと用紙カセットの分離片（パッド）を交換します。

トレイ 2、トレイ 3（オプション）では、給紙ローラーを 3 ヶ交換します。「トレイ 2、トレイ 3（オプション）の給紙ローラーを交換する」（P.81）をご覧ください。

MP トレイでは、給紙ローラー 1 ヶを交換します。「MP トレイの給紙ローラーを交換する」（P.83）をご覧ください。

交換の目安は、各トレイとも、約 120,000 枚です。（実際の寿命は使用環境や用紙によって異なります。）

トレイ 1 の給紙ローラーと分離片を交換する

給紙ローラセット（トレイ 1 用）

注

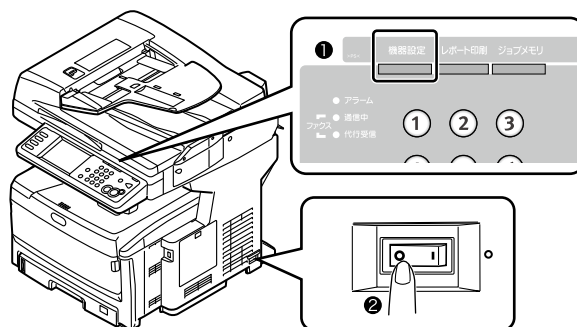
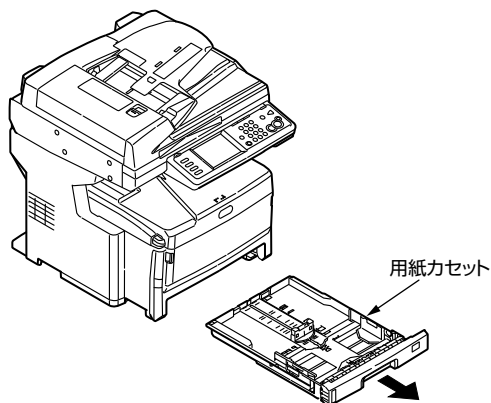
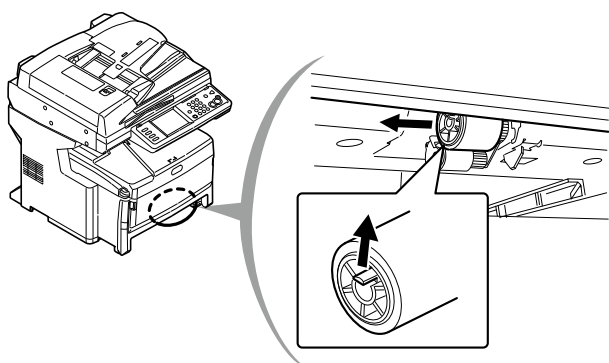
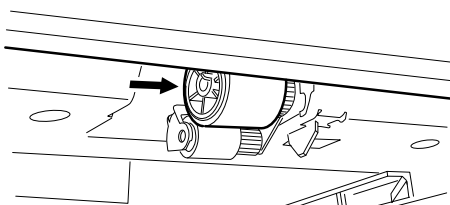
- 給紙ローラーと分離片は必ずセットで交換してください。

1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、[シャットダウン] を押してから、電源スイッチを OFF にします。

注

- いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

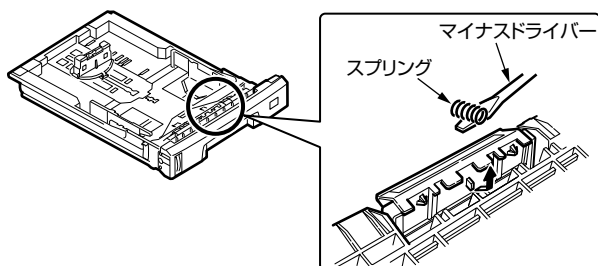
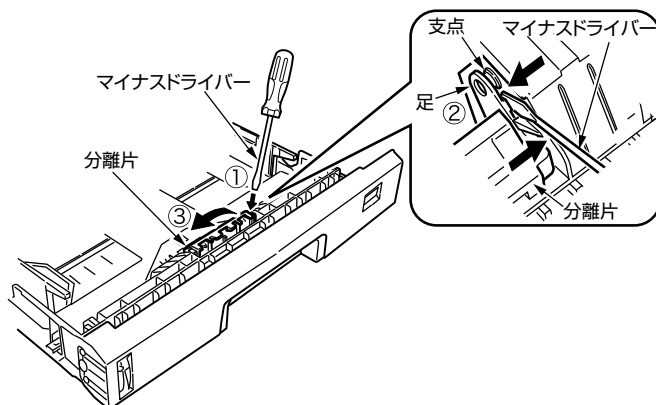
参照

- 詳しい手順はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

2 用紙カセットを引き抜きます。

3 給紙ローラー（大）の爪を外側に広げながら、軸から外します。

4 新しい給紙ローラーを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラーが抜けないか、確認します。

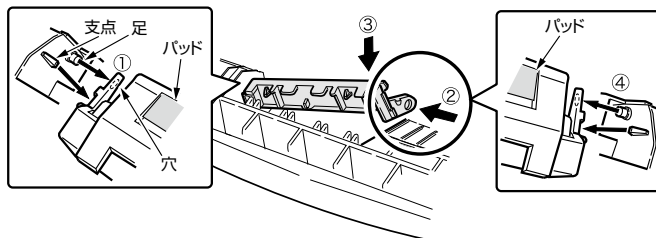
6 用紙カセットの分離片を外します

(1) マイナスドライバーなどの道具を使い、スプリングを外します。

! 注

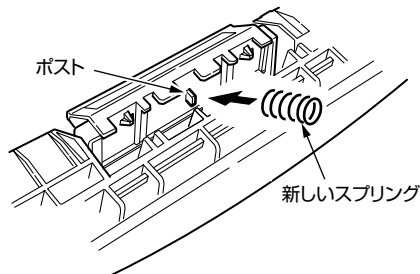
- スプリングがとばないよう、注意してください。

(2) マイナスドライバーなどの道具を、分離片とカセットの間に差し込み、分離片の片方の足が支点から外れるまでたわませ、持ち上げるようにして外します。

7 新しい分離片を取り付けます。

(1) 新しい分離片の片方の足の穴を支点にいれ、もう片方の足をたわませながら足の穴に支点が入るように真上から押し込みます。

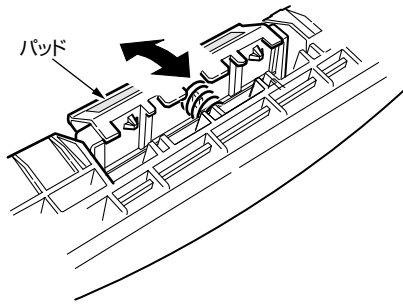
! 注

- パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

(2) 両方の足の穴に支点が入っていることを確認します

(3) 新しいスプリングを分離片のポストに差し込んで取り付けます。

! 注

- スプリングがとばないよう、注意してください。
- 先に取り外したスプリングも使用できます。

(4) 支点を中心に分離片がなめらかに動くことを確認します。

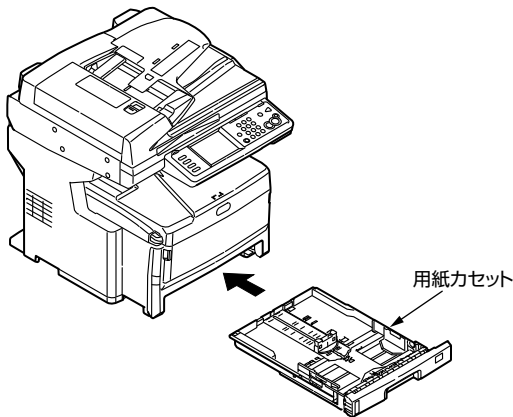
注

● パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

8 給紙ローラーとパッドを清掃します。

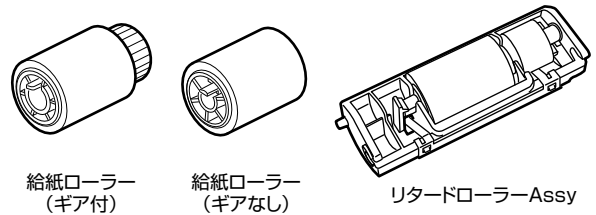
参照

● 詳しい手順は「給紙ローラーとパッドを清掃する」（P.88）をご覧ください。

9 用紙カセットを戻します。

メモ

● 使用済みの給紙ローラーセットの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

トレイ 2、トレイ 3（オプション）の給紙ローラーを交換する

給紙ローラセット（トレイ 2、トレイ 3 用）

注

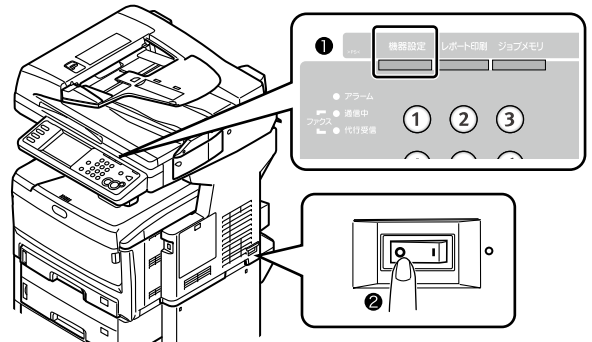
● 給紙ローラーは必ず3個とも交換してください。

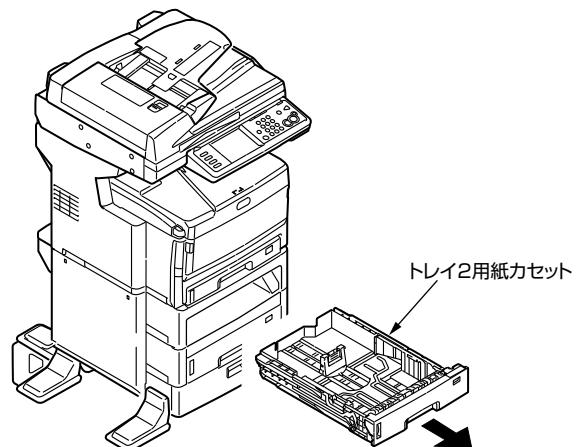
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、［シャットダウン］を押してから、電源スイッチを OFF にします。

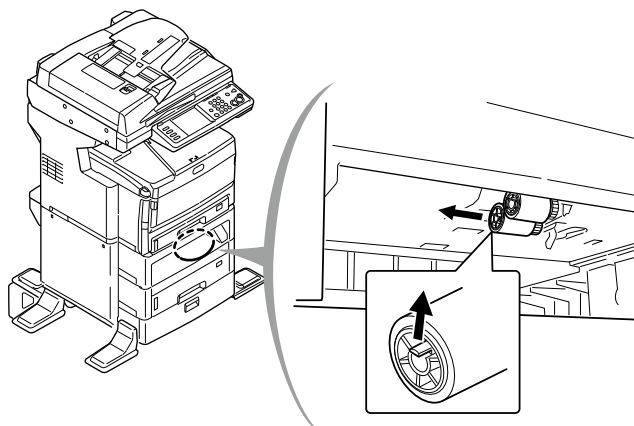
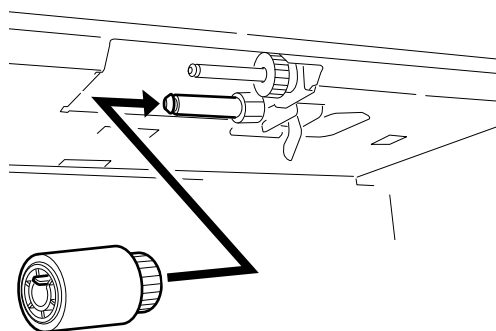
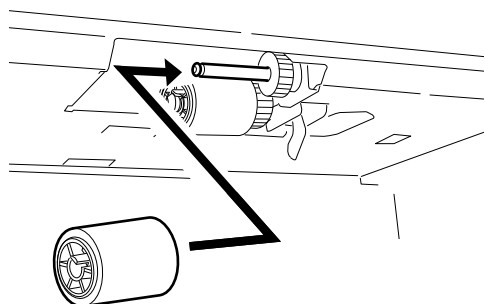
注

● いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

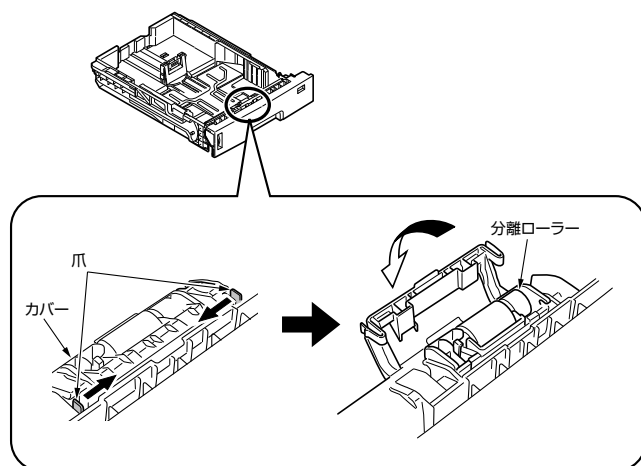
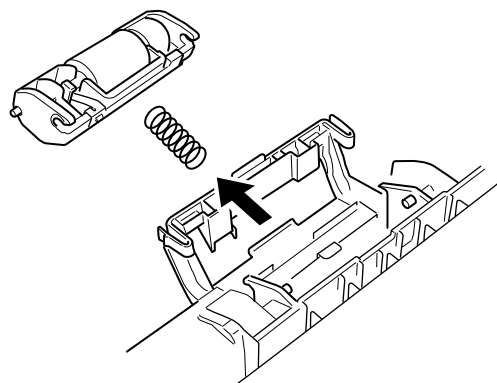
参照

● 詳しい手順はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

2 トレイ 2、トレイ 3 の用紙カセットを引き抜きます。

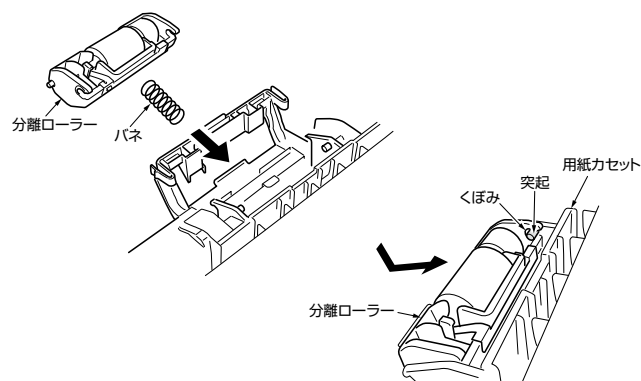
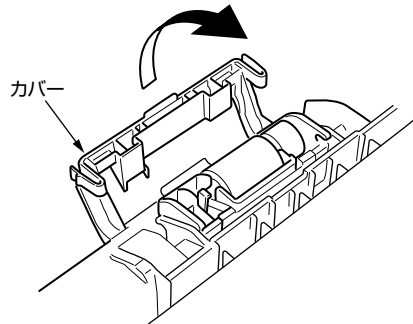
1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

3 給紙ローラーの爪を外側に広げながら、軸から外します。

2 個とも外します。

4 新しい給紙ローラー（ギア付）を奥側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 新しい給紙ローラー（ギアなし）を手前側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

6 ローラーが抜けないか、確認します。

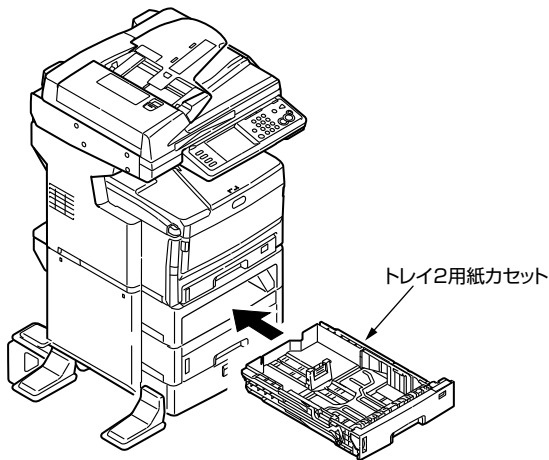
7 用紙カセットのローラーを交換します。

(1) 用紙カセットの両側の爪をたわませて外し、手前に回転させ、カバーを開けます。

(2) リタードローラー Assy を矢印方向に引っ張り、軸から外します。

(3) 新しい部品を取り付けます。

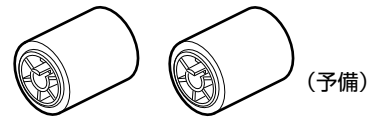
リタードローラー Assy 背面のボス部にスプリングをはめ、カセット側の軸にリタードローラー Assy の軸受け部を斜め下方向から押し込みます。

リタードローラー Assy が軸を支点になめらかに動作することを確認します。

(4) カバーを閉じます。

(5) ローラーが回転することを確認します。

8 用紙カセットを元の位置に戻します。

メモ

- 使用済みの給紙ローラーセットの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

MP トレイの給紙ローラーを交換する

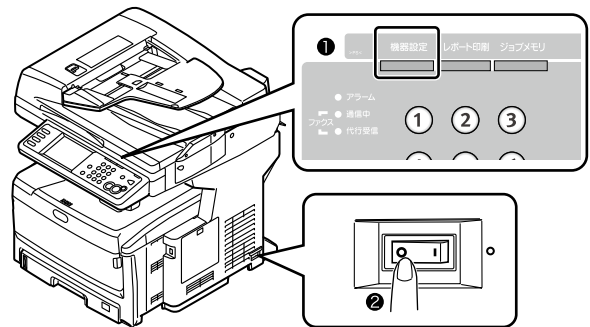
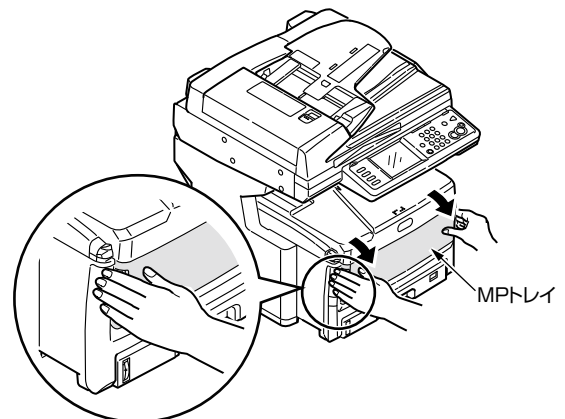
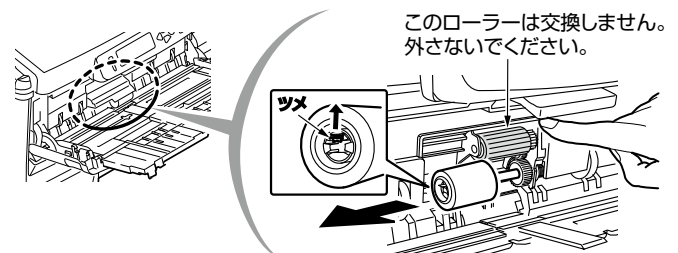
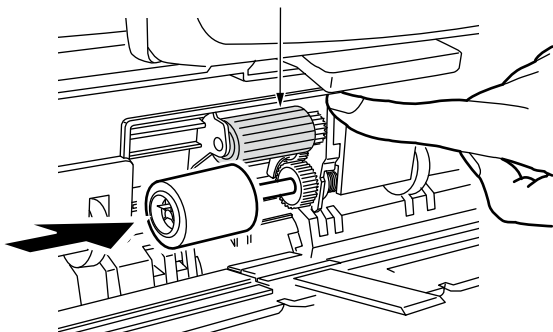
注

- 給紙ローラセット（MPT 用）には給紙ローラーが 2 個入っていますが、給紙ローラーを交換するときは給紙ローラー 1 個を使用してください。もう 1 個の給紙ローラーは予備として保管ください。

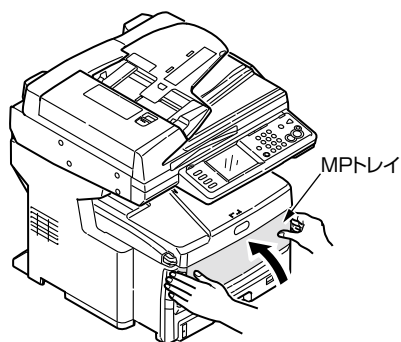
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、［シャットダウン］を押してから、電源スイッチを OFF にします。

注

- いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

参照

- 詳しい手順はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

2 MP トレイの両端を持ち、手前に開きます。

3 用紙ピックアップ部を持ち上げ、給紙ローラーの爪を外側に広げながら、軸から外します。

4 新しい給紙ローラーを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラーが抜けないか、確認します。

6 MP トレイを閉じます。

メモ

- 使用済みの給紙ローラーの回収にご協力ください。詳しくは、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」を参照してください。

本機のお手入れ

本機の表面を清掃する

! 注

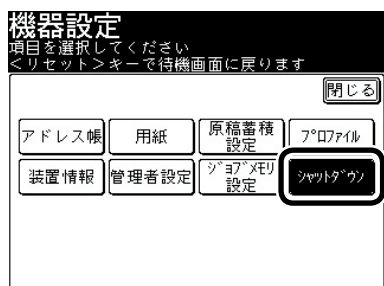
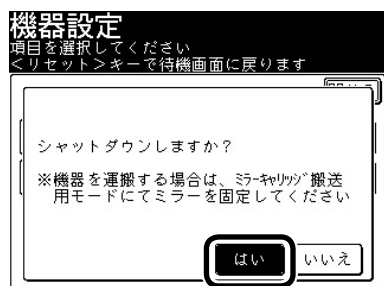
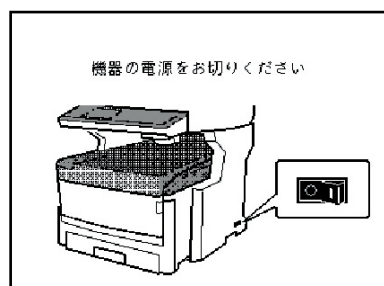
- ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

1 本機の電源を OFF にします。

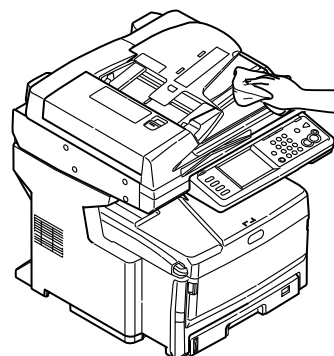
! 注

- いきなり電源スイッチを OFF にしないでください。装置が故障するおそれがあります。

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

(2) ［シャットダウン］を押します。

(3) ［はい］を押します。

(4) 下の画面が表示されたら、本機の電源スイッチを OFF にします。

2 表面を拭きます。

! 注

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本機は油をさす必要はありません。注油しないでください。

(1) 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

(2) 柔らかい乾いた布で拭きます。

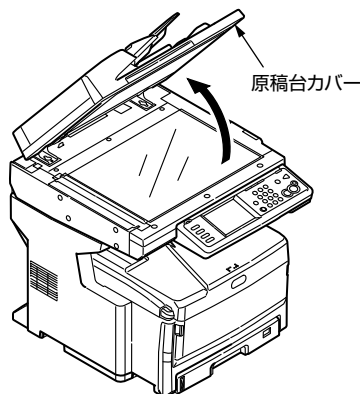
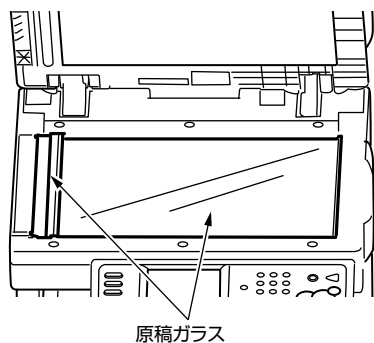
1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

原稿ガラス・ガラス面を清掃する

原稿ガラスやガラス面が汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒いすじが発生したり、汚れが印刷されたりします。きれいな画質を得るために、約 1 カ月に一度の清掃をしてください。

! 注

- ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

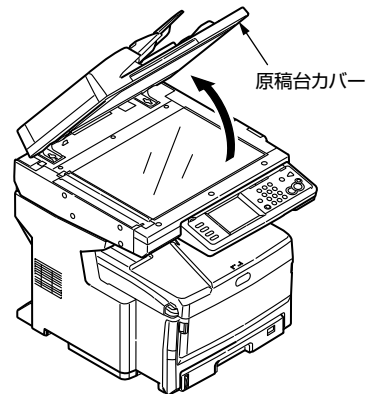
1 原稿台カバーを開けます。

2 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿ガラスのガラス面を拭きます。

3 原稿台カバーを閉じます。

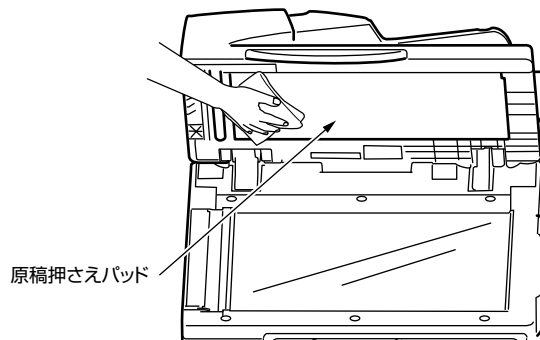
メモ

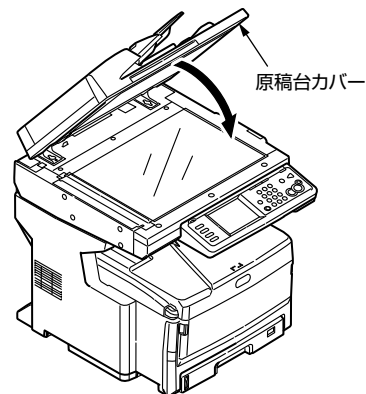
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

原稿押さえパッドを清掃する

原稿押さえパッドが汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒点や汚れなどが発生します。きれいな画質を得るために、約 1 カ月に一度の清掃をしてください。

1 原稿台カバーを開けます。

2 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、原稿押さえパッドを拭きます。

メモ

- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

3 原稿台カバーを閉じます。

原稿搬送ローラーと原稿押さえローラーを清掃する

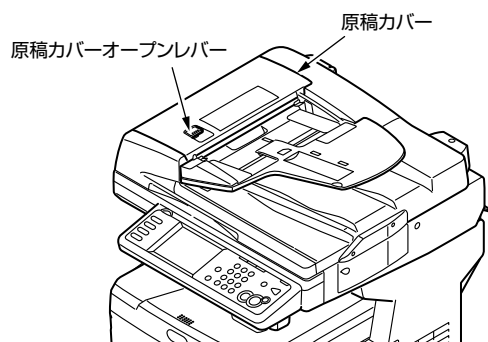
原稿搬送ローラーが汚れていると、原稿を汚すばかりではなく、相手側での受信文書やコピーの汚れの原因ともなります。また、原稿づまりの原因ともなります。

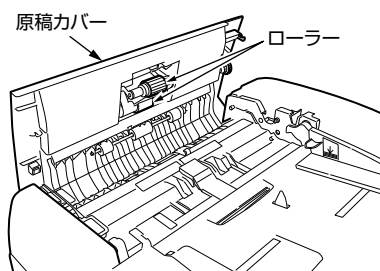
原稿押さえローラーが汚れていると、相手側での受信文書やコピーに黒点や汚れなどが発生します。

きれいな画質で、スムーズに原稿を送るために、約 1 カ月に一度の清掃をしてください。

! 注

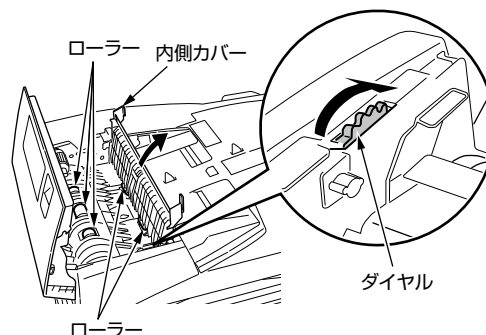
- ベンジンやシンナーはプラスチック部品や塗装をいためることがありますので、使用しないでください。

1 原稿カバーオープンレバーを上げ、原稿カバーを開けます。

2 原稿搬送ローラーを清掃します。

(1) 水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラーを拭きます。

メモ

- ローラーを手で回しながら、ローラー全面を拭いてください。（1 方向にしか回らないローラーもあります。）
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

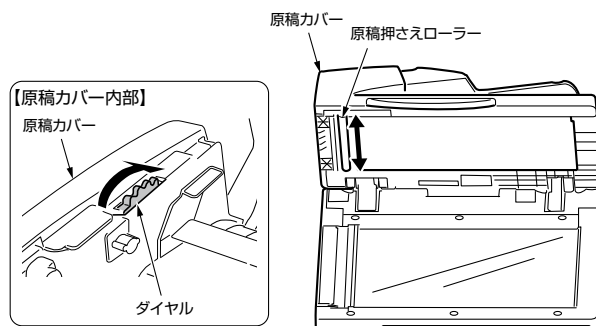
(2) 内側のカバーを開けます。

水で少しぬらした柔らかい布をよく絞り、ローラーを拭きます。

メモ

- ダイヤルを回しながらローラー全面を拭いてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

3 原稿押さえローラを清掃します。

(1) 原稿台カバーを開けます。

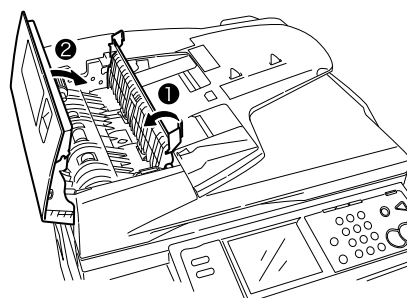
(2) ダイヤルを矢印方向に回しながら原稿押さえローラーを矢印方向に拭きます。

メモ

- ダイヤルを回しながらローラー全面を拭いてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を少し含ませて拭いた後、水を含ませよく絞った布でもう一度拭いてください。

(3) 原稿台カバーを閉じます。

4 原稿カバーを閉じます。

(1) 内側のカバーを閉じます。

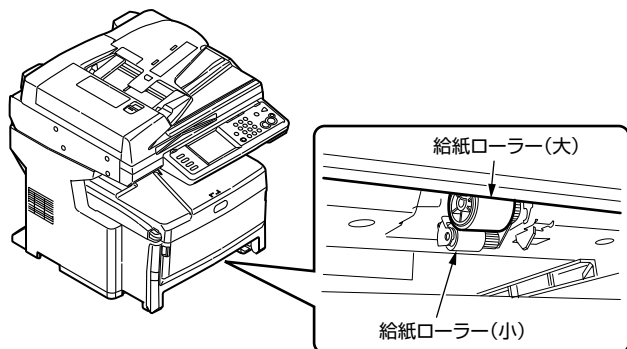
(2) 原稿カバーを閉じます。

給紙ローラーとパッドを清掃する

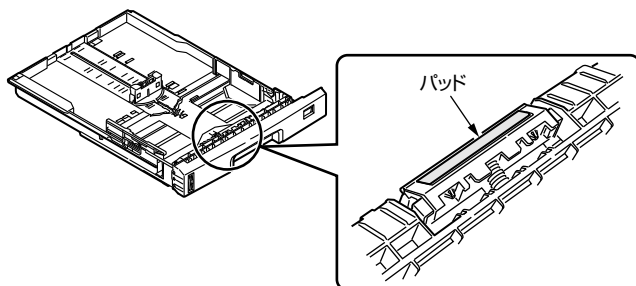
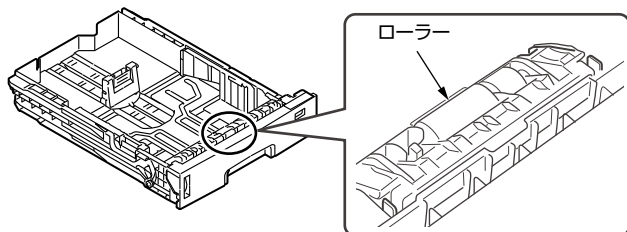
紙づまりが頻発する場合に行ってください。

トレイ 2、トレイ 3 の場合も同様の手順で行います。

MP トレイの場合は、給紙ローラーのみ同様の手順で行います。（パッドはありません。）

1 トレイを引き出します。

2 給紙ローラー（大）、給紙ローラー（小）を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 トレイのパッドまたはローラー部分を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

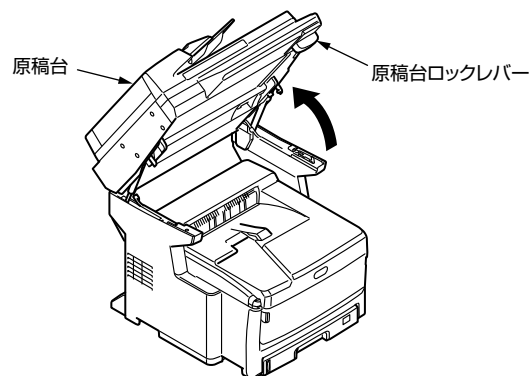
- トレイ 1 の場合

- トレイ 2、トレイ 3 の場合

LED ヘッドを清掃する

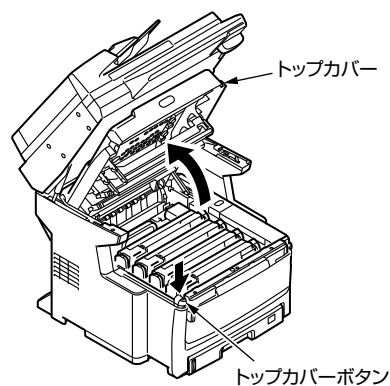
印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

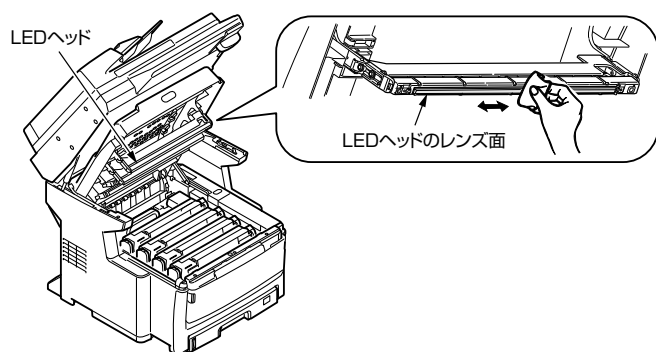
1 本機の電源を OFF にします。

参照

- 電源の切り方はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

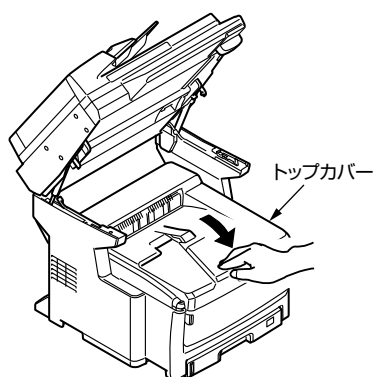
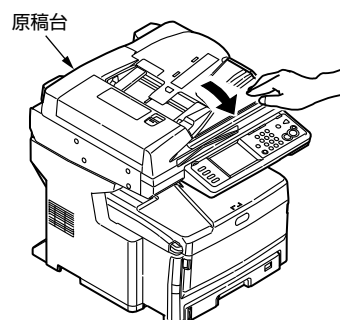
2 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

3 トップカバーボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		

4 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面（4 ヶ所）を軽く拭きます。

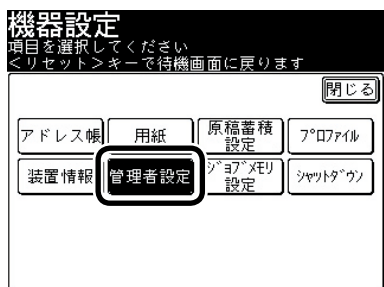
注

- メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

6 原稿台を元の位置に戻します。

1 困ったときには
2 メンテナンス
付録
索引

本機を移動・輸送する

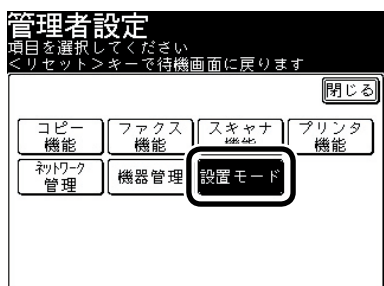
本機を移動するとき

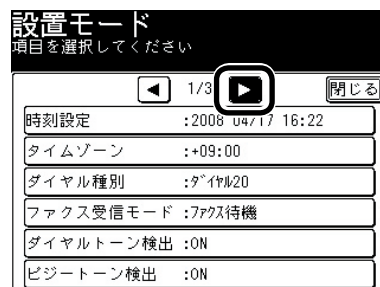
1 ミラーキャリッジ搬送モードを ON にします。

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

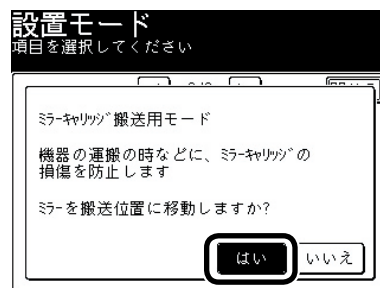
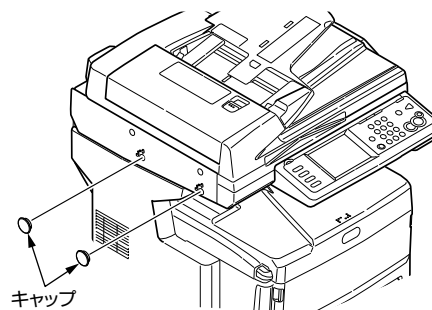
(2) ［管理者設定］を押します。

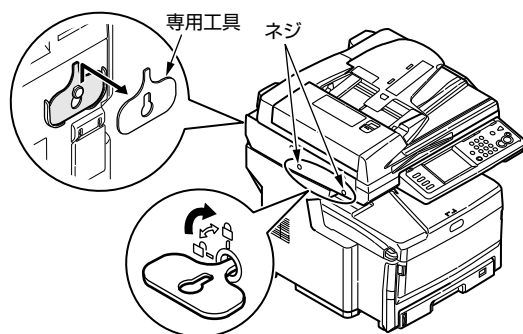
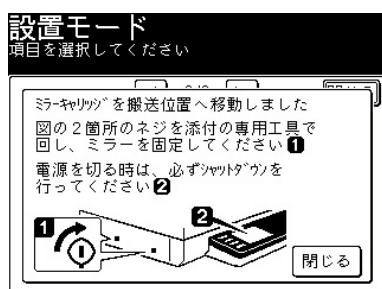
(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

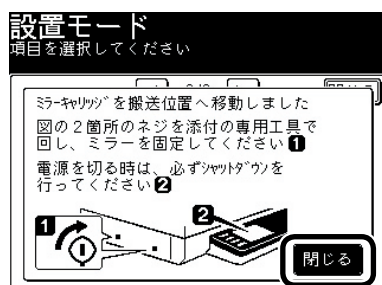
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

(4) ［設置モード］を押します。

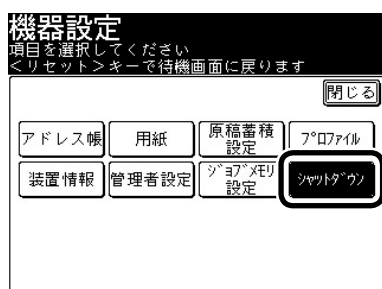
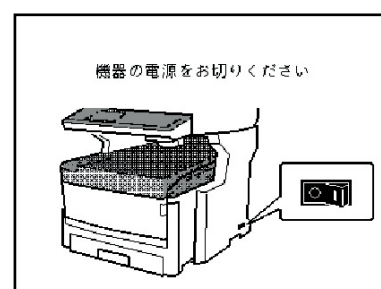
(5) ［▶］を 2 回押し、［設置モード］画面の［3/3］を表示します。

(6) ［ミラーキャリッジ搬送用モード］を押します。

(7) 確認の画面を表示するので、［はい］を選択します。

(8) 2 か所のキャップを取り外します。

(9) 2 箇所のネジを添付の専用工具で矢印方向に回し、ミラーを固定してください。

(10) (8) で取り外した 2 か所のキャップを元の位置に取り付けます。

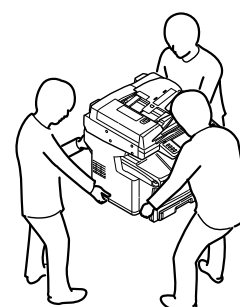
(11) 専用工具を元の位置に戻します。

(12) ［閉じる］を押します。

(13) ＜機器設定＞キーを押します。

(14) ［シャットダウン］を押します。

(15) 以下の画面が表示されたら、本機の電源スイッチを OFF にします。

2 次の部分を取り外します。

- 電源コード、アース線
- ケーブル
- トレイに入っている用紙

3 必ず 3 人以上で持ち、移動します。

- 移動後、必ずミラーキャリッジのロックを解除してから電源を入れ、ミラーキャリッジ搬送モードを OFF にしてください。

■MC862dn-T 及び増設トレイユニットを取り付けている場合

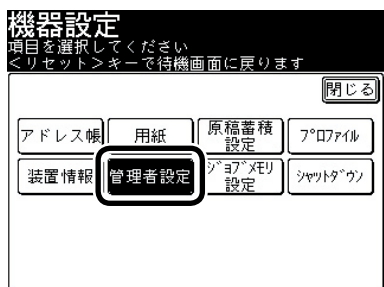
転倒防止足を取り外しキャスターのロック（2 箇所）を解除して移動してください。

移動後はキャスターをロックし転倒防止足を元の位置に取り付けてください。

詳しくはセットアップ編「増設トレイユニットを取り付ける」をご覧ください。

本機を輸送するとき

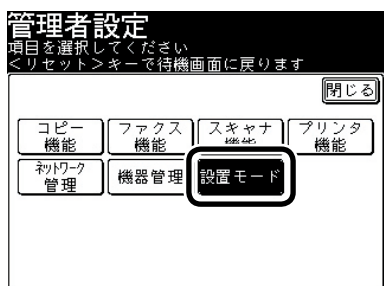
本機は精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

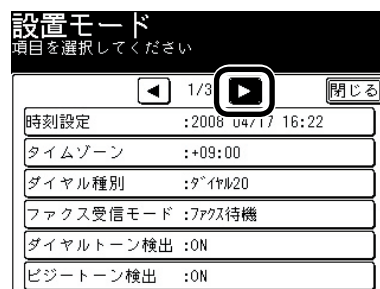
1 ミラーキャリッジ搬送モードを ON にします。

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

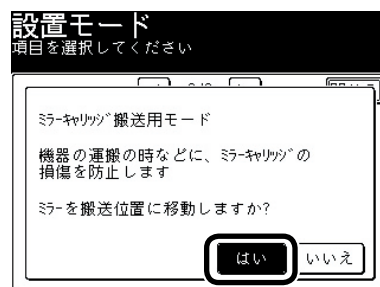
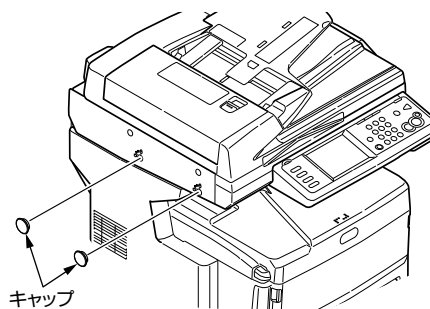
(2) ［管理者設定］を押します。

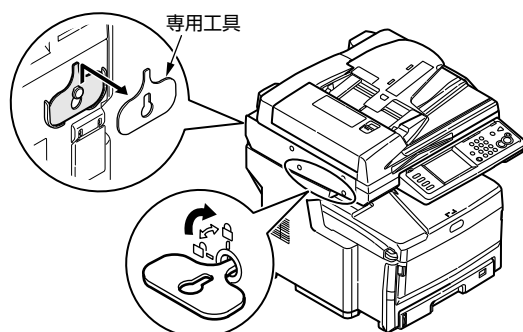
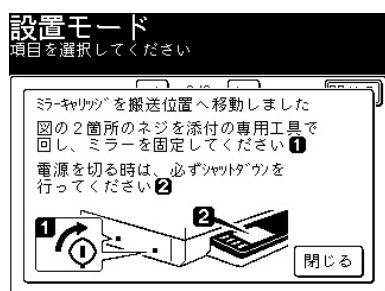
(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

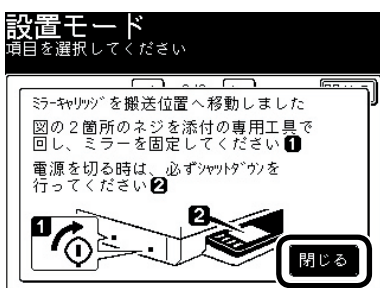
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

(4) ［設置モード］を押します。

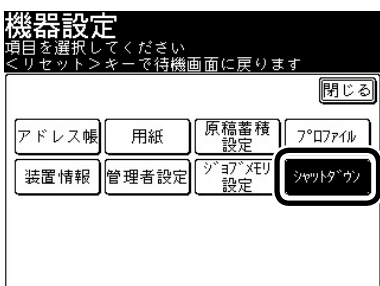
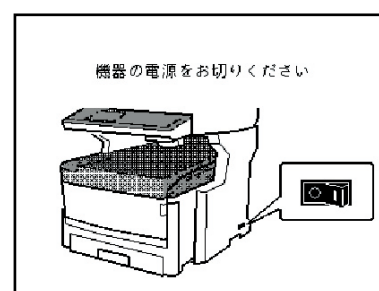
(5) ［▶］を 2 回押し、［設置モード］画面の［3/3］を表示します。

(6) ［ミラーキャリッジ搬送用モード］を押します。

(7) 確認の画面を表示するので、［はい］を選択します。

(8) 2 か所のキャップを取り外します。

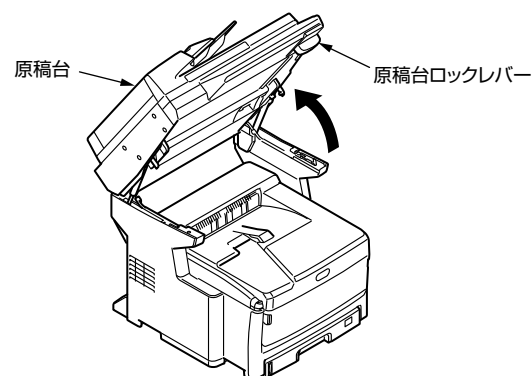
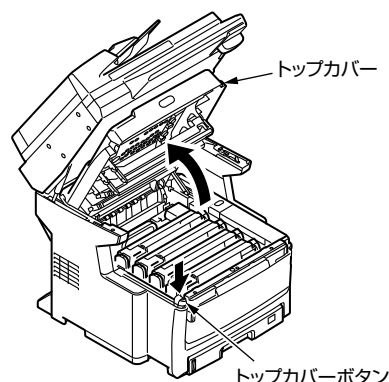
(9) ２箇所のネジを添付の専用工具で矢印方向に回し、ミラーを固定してください。

(10) (8) で取り外した２か所のキャップを元の位置に取り付けます。

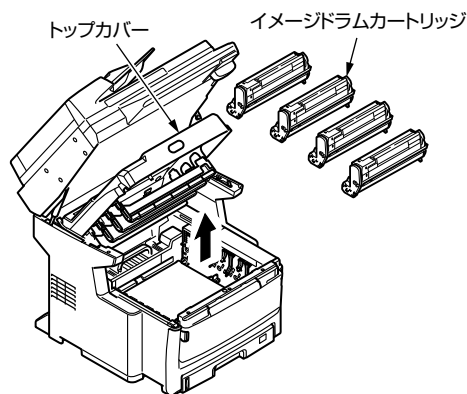
(11) 専用工具を元の位置に戻します。

(12) ［閉じる］を押します。

(13) ＜機器設定＞キーを押します。

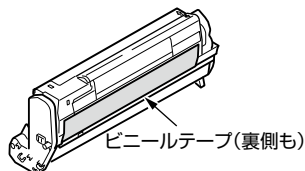
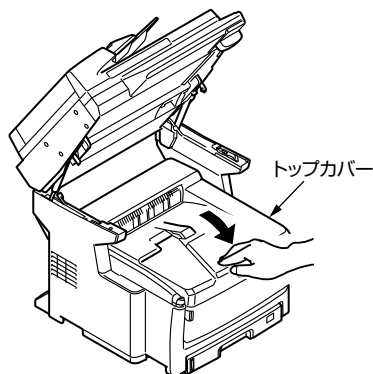
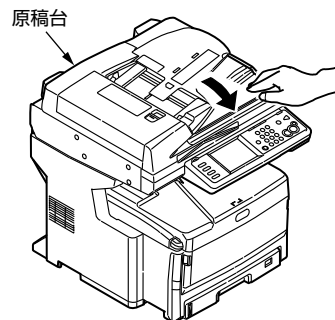
(14) ［シャットダウン］を押します。

(15) 以下の画面が表示されたら、本機の電源スイッチを OFF にします。

2 次の部品を取り外します。

- 電源コード、アース線
- ケーブル
- トレイに入っている用紙

3 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

4 トップカバーボタンを押し、トップカバーを開けます。

5 イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		

6 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、本機に戻します。

注

- 本機にイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

7 トップカバーを閉じます。

8 原稿台を元の位置に戻します。

9 装置本体と増設トレイユニットを分離します。

増設トレイユニットを取り付けていない場合は 10 へ進んでください。

分離の手順は取り付けの逆手順で行います。詳しくはセットアップ編「増設トレイユニットを取り付ける」をご覧ください。

10 緩衝材で本機を保護します。

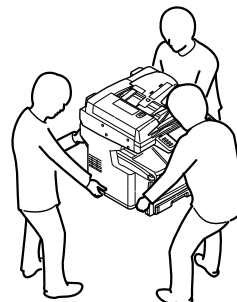
注

- 購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

メモ

- 輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。
- また輸送後、必ずミラーキャリッジのロックを解除してから電源を入れ、ミラーキャリッジ搬送モードを OFF にしてください。

11 必ず 3 人以上で持ち、梱包箱に入れます。

付　録

消耗品・オプション・推奨紙のご案内

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名		型　名	内　容
トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C3MK1	トナーカートリッジ MC852 専用（MC862 では使用できません）
トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C3MY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C3MM1	
トナーカートリッジ　シアン		TNR-C3MC1	
トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C3PK1	トナーカートリッジ MC862 専用（MC852 では使用できません）
トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C3PY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C3PM1	
トナーカートリッジ　シアン		TNR-C3PC1	
大容量トナーカートリッジ　ブラック		TNR-C3PK2	トナーカートリッジ 大容量タイプ MC862 専用（MC852 では使用できません）
大容量トナーカートリッジ　イエロー		TNR-C3PY2	
大容量トナーカートリッジ　マゼンタ		TNR-C3PM2	
大容量トナーカートリッジ　シアン		TNR-C3PC2	
イメージドラム　ブラック		ID-C3MK1	イメージドラムカートリッジ （サービストナー付）
イメージドラム　イエロー		ID-C3MY1	
イメージドラム　マゼンタ		ID-C3MM1	
イメージドラム　シアン		ID-C3MC1	
増設トレイユニット D4		TRY-C3D4	増設トレイユニット（トレイ 2、3、専用キャビネット）
増設トレイユニット D5		TRY-C3D5	増設トレイユニット（トレイ 2、専用キャビネット）
512MB 増設メモリ		MEM512C	増設メモリー（512MB） （増設時には、標準で装着しているメモリを取り外す必要があります）
カード認証キット A1		JCK-L3S6A1	IC カード認証キット
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンター用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	
	A3	PPR-CA3NA	
	A3（厚口）	PPR-CA3DA	
	A3 長尺	PPR-CT5DA	

! 注

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

電池を廃棄する

本機は、データのバックアップ用として、充電式電池を使用しています。充電式電池は、貴重な資源ですので、製品を廃棄する場合は、以下の手順にしたがって充電式電池を取外し、お買い求めの販売店か、または、お近くの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

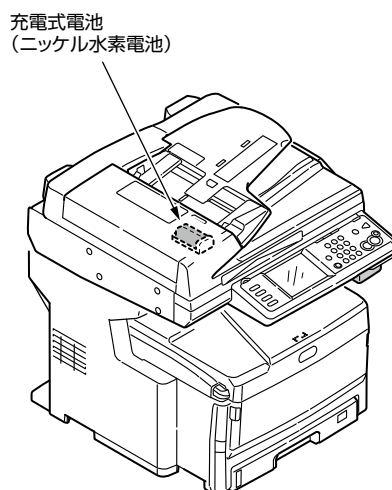
■ 電池の仕様及び取り付け位置

充電式電池の仕様

- 電池の種別：ニッケル水素電池
- 公称電圧：1.2V ×2
- 容　量：500mA/H
- 製造者及び製品名：Unitech 社製 H-AAA500mAh×2
  LEXEL 社製 LH050-3A44C2BRJS2P
  HI-WATT BATTERY 社製 AAA500F2MJ　のいずれか

充電式電池（ニッケル水素電池）は下図の位置に取り付けられています。

1 充電式電池を取外します。

! 注

- 電池の取外しは、お客様ご自身ではできません。専門の業者へ委託してください。

(1) 3本のネジを外し、スキャナー背面のモールドカバーを浮かします。

(2) 2本のネジを外し、スキャナー底面のモールドカバーを外します。

(3) 2本のネジを外し、スキャナー底面の板金を開きます。

(4) 電池を基板に接続しているコネクターを抜きます。

(5) 電池フォルダーから電池を外します。

⚠危険	ケガをするおそれがあります。	
取り外した充電式電池を、充電・分解・ショートしたり、火中へ投じないでください。		

2 取り外した充電式電池を、装置をお買い求めの販売店か、または、お近くの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

メモ

- 詳しくは、お住まいの地方自治体へお問い合わせいただくか、または社団法人　電池工業会のホームページをご覧ください。

3 充電式電池を取り外した装置は、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お住まいの地表自治体の条例にしたがって廃棄してください。

メモ

- 詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	
本体は重量約 68 Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。		

かな

い

え

お

か

け

こ

し

す

せ

そ

て

と

ふ

へ

ほ

め

よ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

発行日　2012年　8月
45345401EE Rev1